



## エネルギーコスト・モニタリング (ECM)

慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

ECM\_JPN\_202512<sup>1</sup>

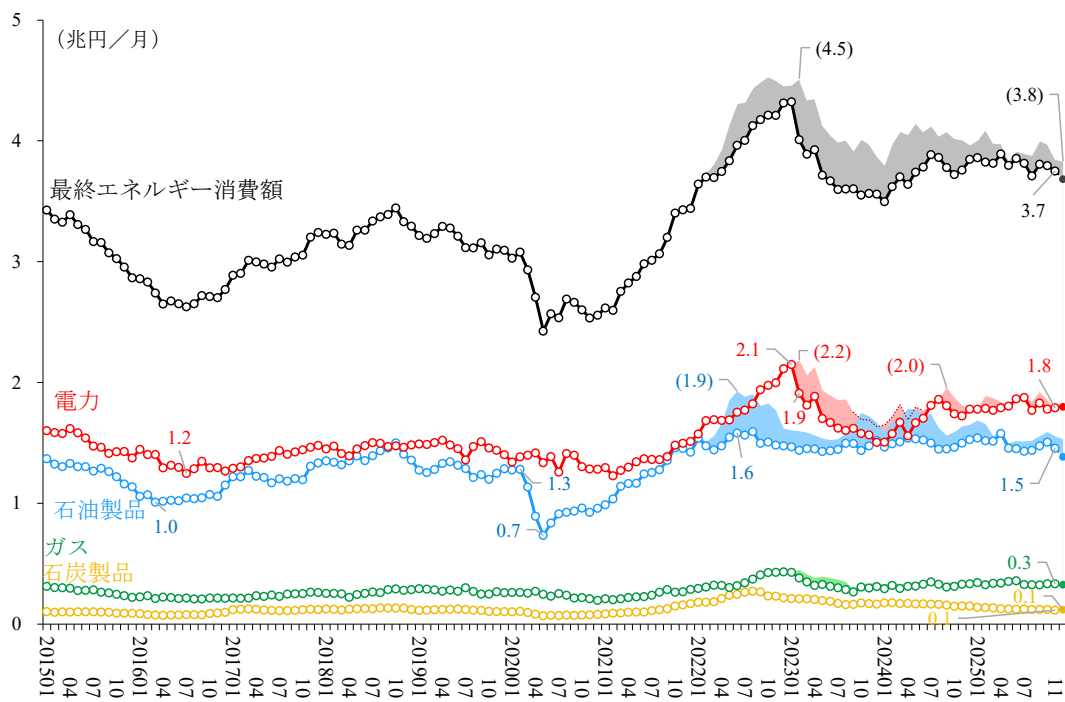
2026年1月10日

野村浩二・稲場翔・吉田満咲

## 1 エネルギーコストの月次動向

・2025年11月の最終エネルギー消費額（エネルギーに対する補助金による抑制後）は3.7兆円と、2022年4月水準まで抑制。ただし補助前消費額では3.8兆円<sup>2</sup>。

・2022年12月のピークを下回るが、エネルギーコストの負担は2024年2月から再上昇し、2025年11月以降も高止まりの見通し。2024年後半期（7月-12月）でもコロナ禍以前の2019年平均値を20%上回り、2025年前半期（1月-6月）には21%上回った。後半期（7月-12月）には19%上回る見通し<sup>3</sup>。



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：兆円。注：観測期間は2015年1月-2025年11月（季節調整済み）。図のシャドー部分は補助金推計値（脚注2）。括弧内はそれを含めた補助金による抑制前エネルギーコスト。2025年12月値は予測値。

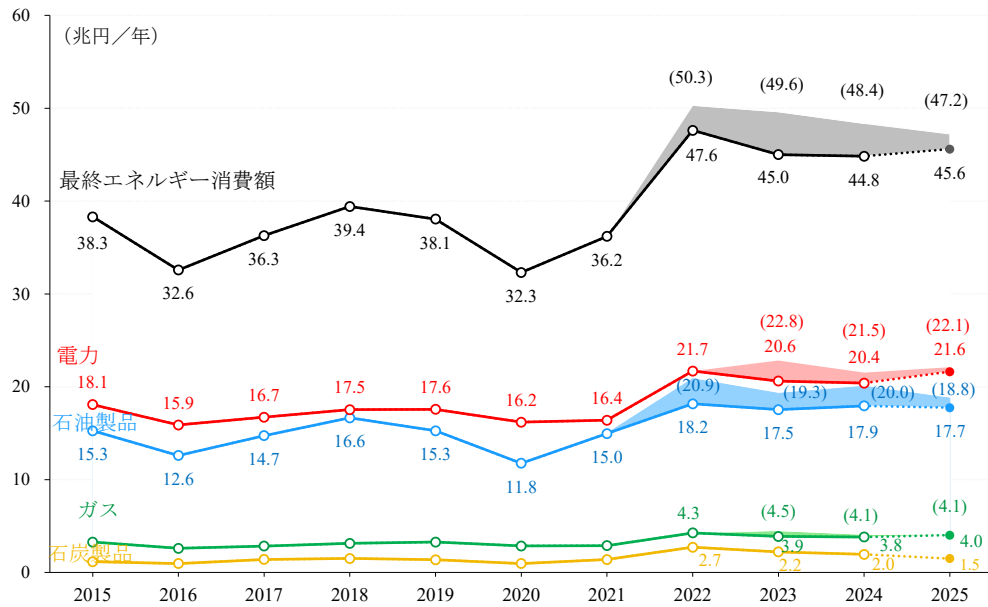
<sup>1</sup>ECM\_JPN\_202512は、①2025年11月（EITE指標は2025年10月）までの更新。日本の四半期GDPでは、2020年基準JSNA-ANA（2025年12月23日公表）の遡及改訂値を反映。

<sup>2</sup>エネルギーに対する補助金としては、「燃料油価格激変緩和対策事業」（2022年1月-2025年5月消費分に対する補助）、「電気・ガス価格激変緩和対策事業」（2023年2月-2024年6月検針分に対する補助）、「酷暑乗り切り緊急支援」（2024年9月-11月検針分に対する補助）に加え、2025年1月（2025年2月検針分）より再開された電気・ガス料金の負担軽減策（2025年2月-4月検針分に対する補助）を考慮している。また補助金の将来値について、政府は2025年5月22日から「燃料油価格定額引下げ措置」による補助を開始し、6月-7月にかけては段階的に拡充され、7月以降ではガソリン・軽油・重油・灯油、航空機燃料それぞれ1リットルあたり10円、5円、4円の補助とされる。なお旧暫定税率の廃止に向け、ガソリンは11月13日から12月11日までに1リットルあたり25.1円、軽油は同日から11月27日までに1リットルあたり17.1円まで、段階的に補助金を拡充するという現行方針を考慮した。電気・ガスでは、今夏に実施された「電気・ガス料金負担軽減支援事業」（8月-10月検針分のみに対する補助）を考慮している。

<sup>3</sup>各種予測値について、2025年12月以降の実質・名目GDP予測値は、OECD *Economic Outlook*（2025年12月2日公表）に基づく。2025年12月のガソリン、軽油、灯油価格は、資源エネルギー庁「石油製品価格調査」（2025年12月24日公表）の小売価格に基づく。それ以外のエネルギー種および12月以降は、U.S. *ELA Short-term Energy Outlook*（2025年12月9日公表）における原油、天然ガス、石炭価格予測に基づく。なおエネルギー消費量の予測では、ECMにおける主体別の（グロス）エネルギー生産性の過去のトレンドを反映している。

## 2 エネルギーコストの年次動向

- ・2023年の最終エネルギー消費額（補助後）は45.0兆円、前年差で2.6兆円（前年比5.5%）の減少。2024年は44.8兆円、前年差で0.2兆円（前年比0.4%）減少。
- ・2023年の電力消費額は20.6兆円、前年差で1.1兆円（前年比5.0%）の減少。2024年は20.4兆円、前年差で0.2兆円（前年比1.1%）減少。
- ・エネルギーに対する補助金総額は、2022年に2.7兆円、2023年4.6兆円（うち電力2.2兆円、石油製品1.8兆円、ガス0.6兆円）。2024年は3.5兆円（うち電力1.1兆円、石油製品2.1兆円、ガス0.3兆円）。

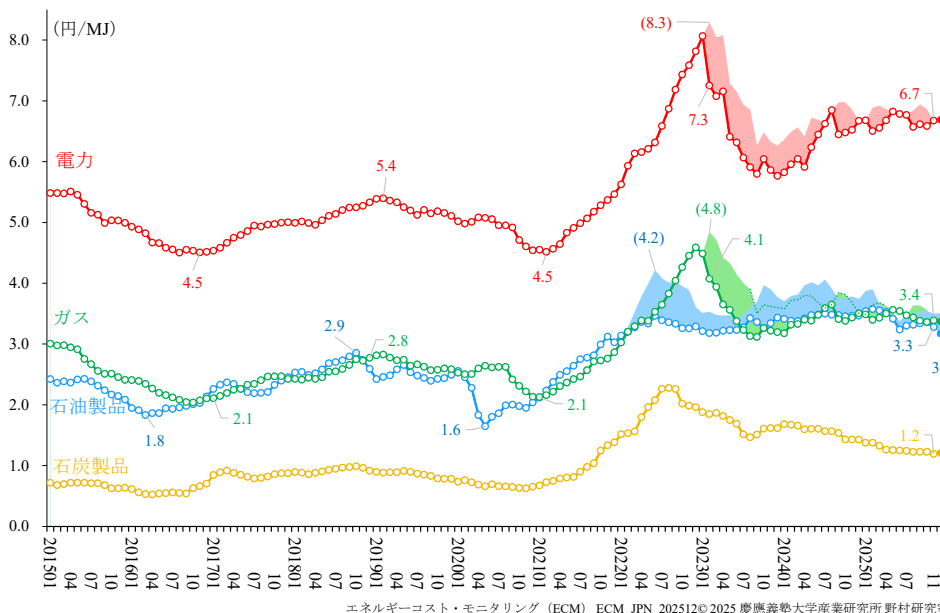


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：兆円。注：観測期間は2015年–2024年。図のシャドー部分は補助金推計値（脚注2）。括弧内はそれを含めた補助金による抑制前エネルギーコスト。2025年値は2025年11月実績値（ECM推計）までを反映した年次予測値。

## 3 エネルギー種別単価

- ・電力・ガスの単価は、燃料価格の低下と補助金により2023年2月には大きく低下、2025年11月にはそれぞれピークとなる2023年1月、2022年12月より17.2%、26.1%低下。



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：円/MJ。注：観測期間は2015年1月–2025年11月。図のシャドー部分は補助金推計値（脚注2）。2025年12月値は予測値。

#### 4 エネルギー消費量

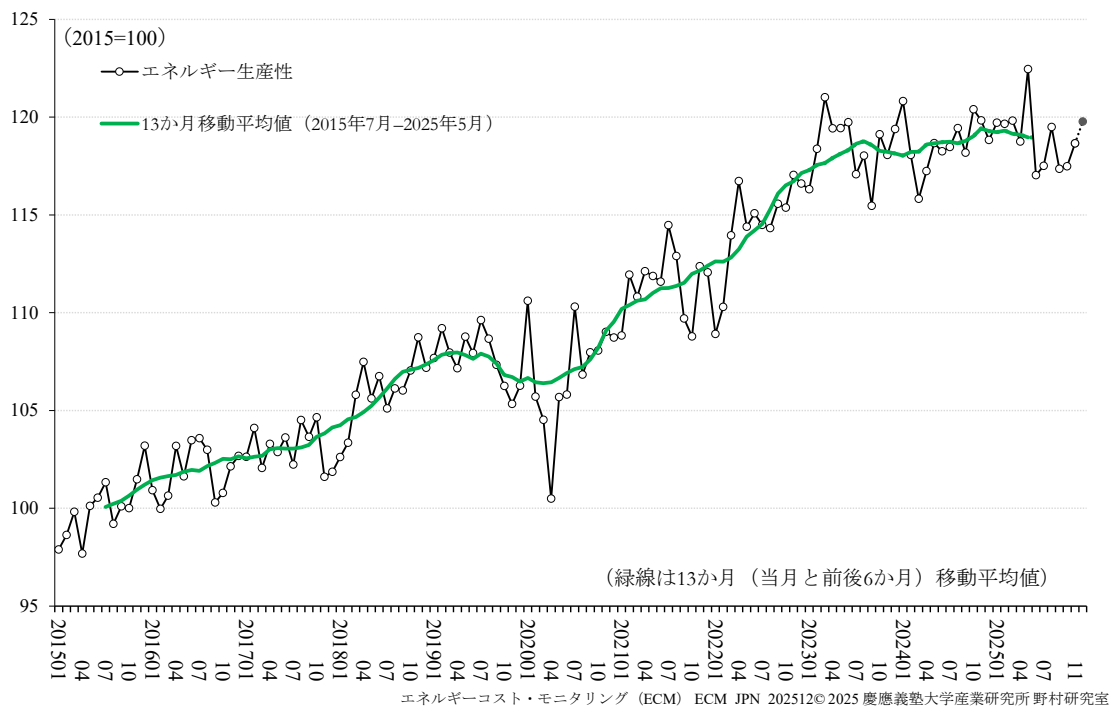
- ・2025年11月のエネルギー消費量（品質調整済みエネルギー投入量）は前年同月比1.7%の増加。
- ・エネルギー消費量はコロナショックからの回復基調を終え、2025年11月では2015暦年平均より11.4%少ない。



単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は2015年1月-2025年11月（季節調整済み）。2025年12月値は予測値。

#### 5 (グロス) エネルギー生産性

- ・エネルギー生産性の13か月移動平均値（緑線）の期間平均成長率（2015年7月-2025年5月）は年率1.8%上昇。
- ・エネルギー生産性の短期変動の意味は限定的だが、グロス・ベース（海外への生産移転などによる狭義の生産性改善以外の効果を含む）では上昇。

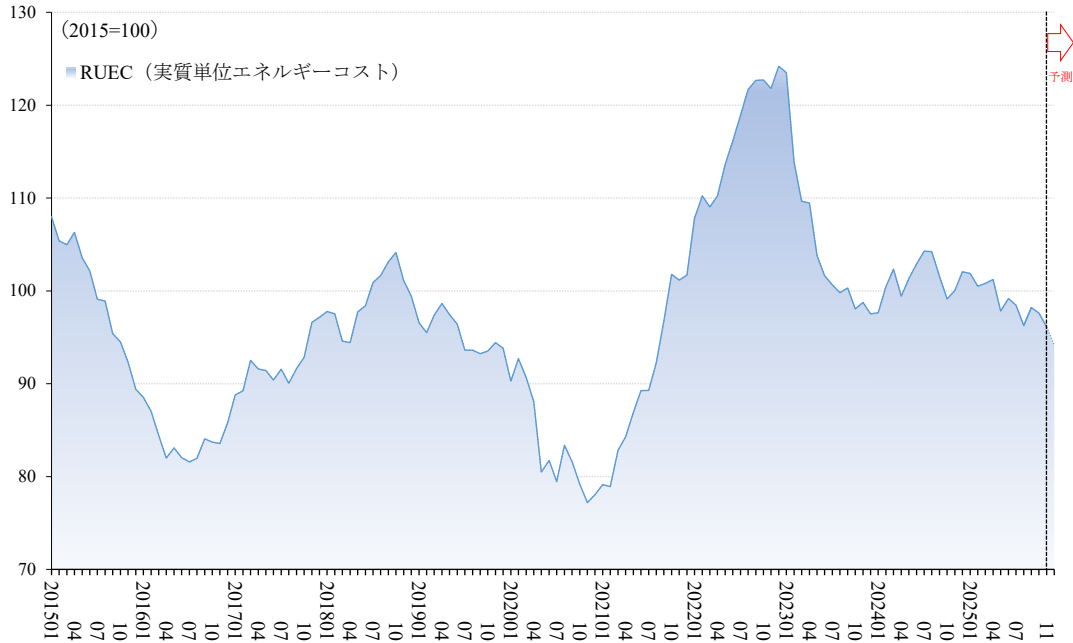


単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は2015年1月-2025年11月（季節調整済み）。2025年12月値は予測値。

## 6 RUEC とその構成要素

### 6.1 月次 RUEC (実質単位エネルギーコスト)

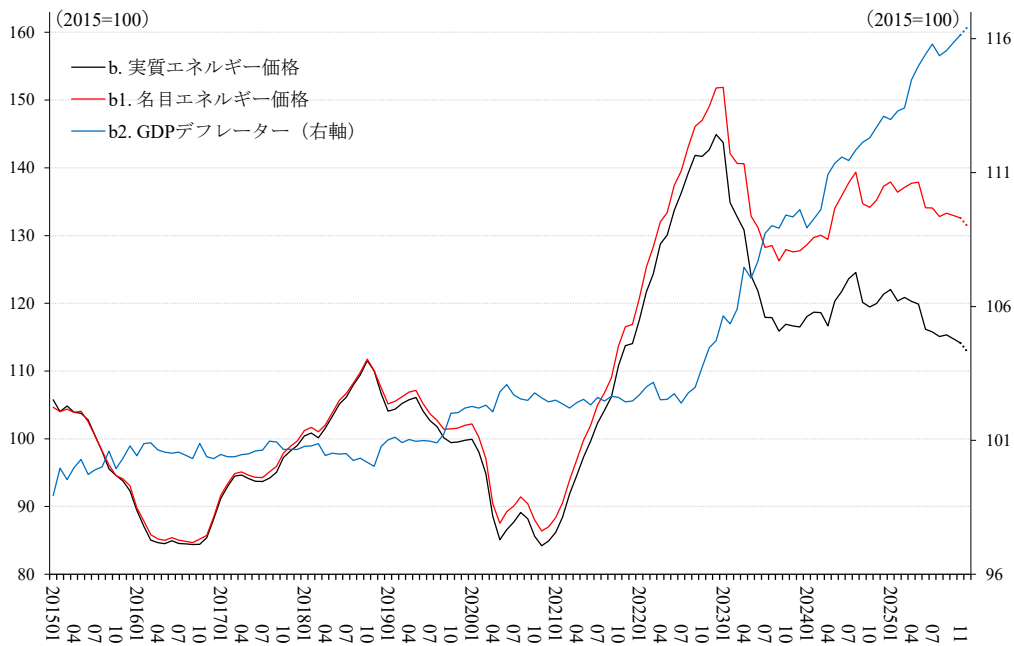
- ・2025年11月のRUECは、実質エネ価格0.5%の下落、エネ生産性1.0%の増加により、前月比1.5%減少。
- ・2025年11月のRUECは2015暦年平均値より3.9%低く、近年の転換期(ボトム)となる2020年11月より24.5%高い。



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512© 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室  
 単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は2015年1月-2025年11月。エネルギーに対する補助金による抑制後のコスト(脚注2)。  
 2025年12月値は予測値。

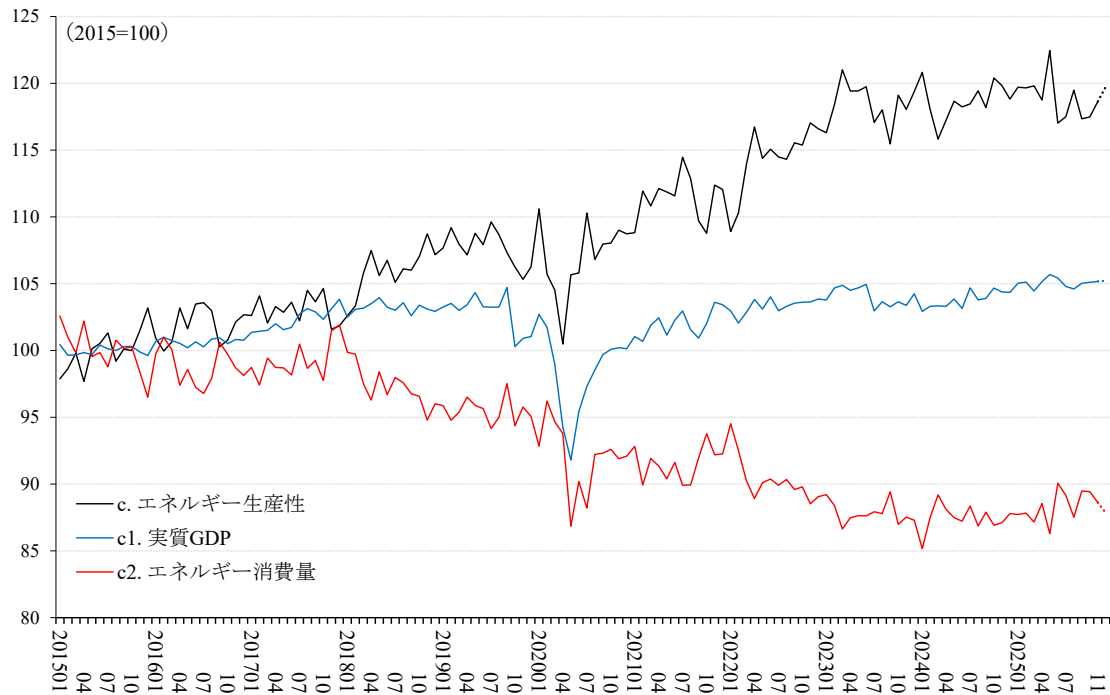
### 6.2 実質エネルギー価格

- ・2025年11月の名目エネ価格は2015暦年平均値に対し32.6%、近年の転換期(ボトム)の2020年11月より53.5%上昇。
- ・日本ではGDPデフレーターは低下及び横ばいの基調であったが、2022年後半より上昇。



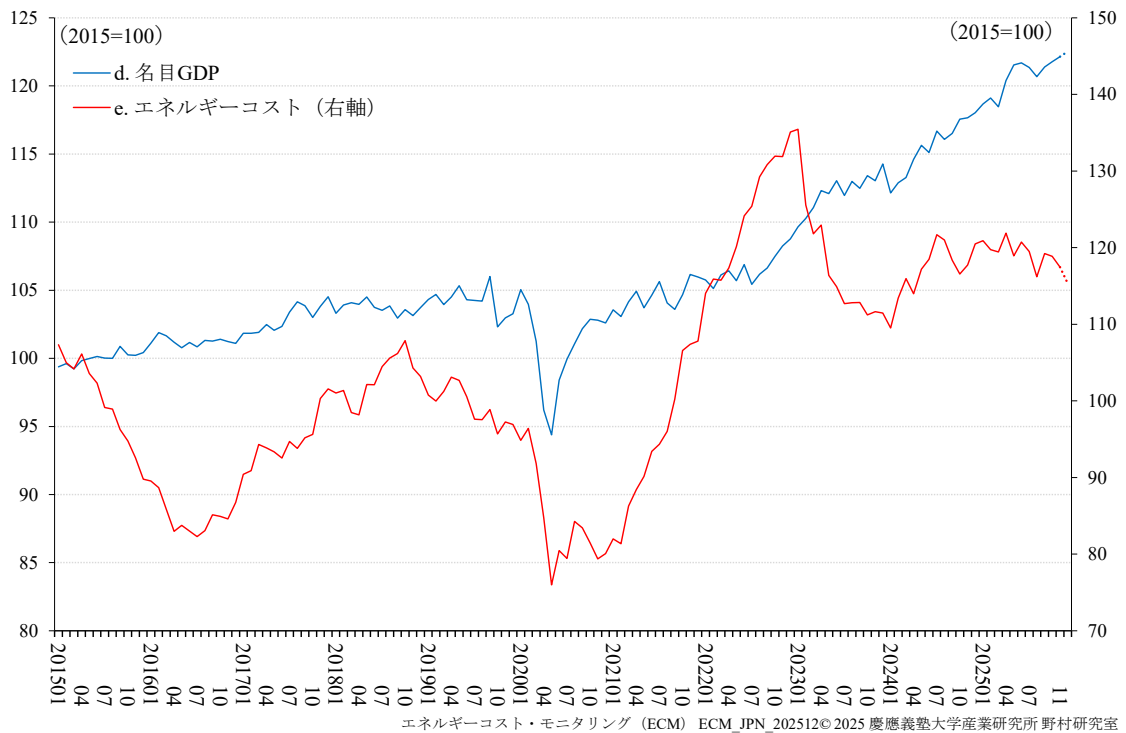
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512© 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室  
 単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は2015年1月-2025年11月。エネルギーに対する補助金による抑制後の価格(脚注2)。  
 2025年12月値は予測値。

### 6.3 実質 GDP およびエネルギー生産性



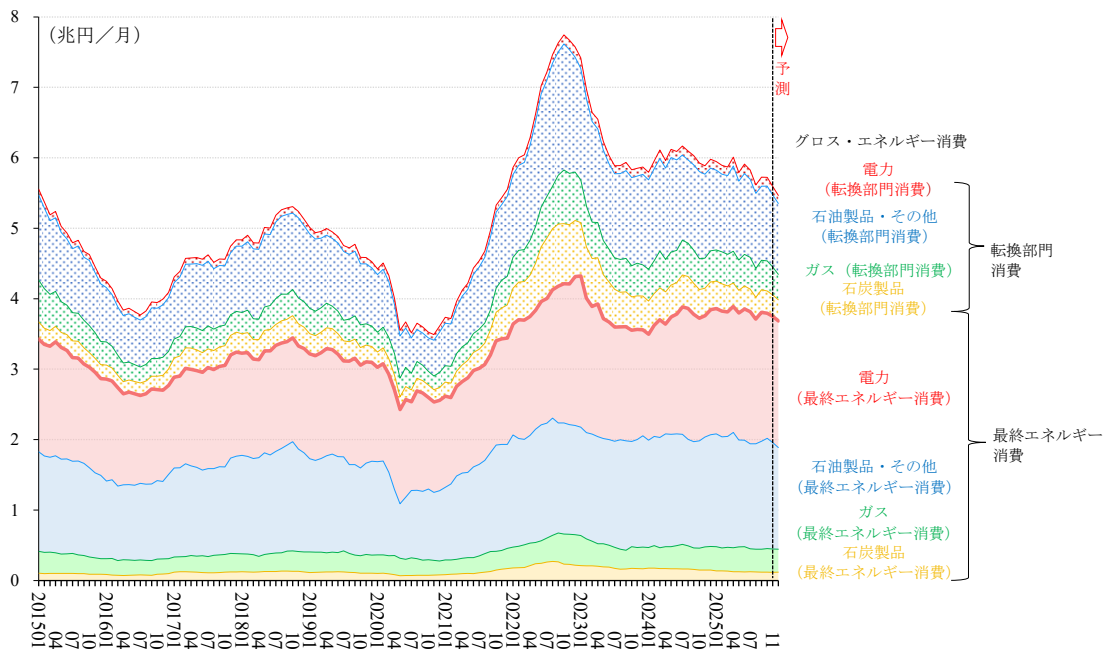
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室  
 単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は2015年1月–2025年11月（季節調整済み）。2025年12月値は予測値。月次実質 GDP は JMGDP（慶應義塾大学産業研究所 野村研究室）による推計値。

### 6.4 名目 GDP およびエネルギーコスト



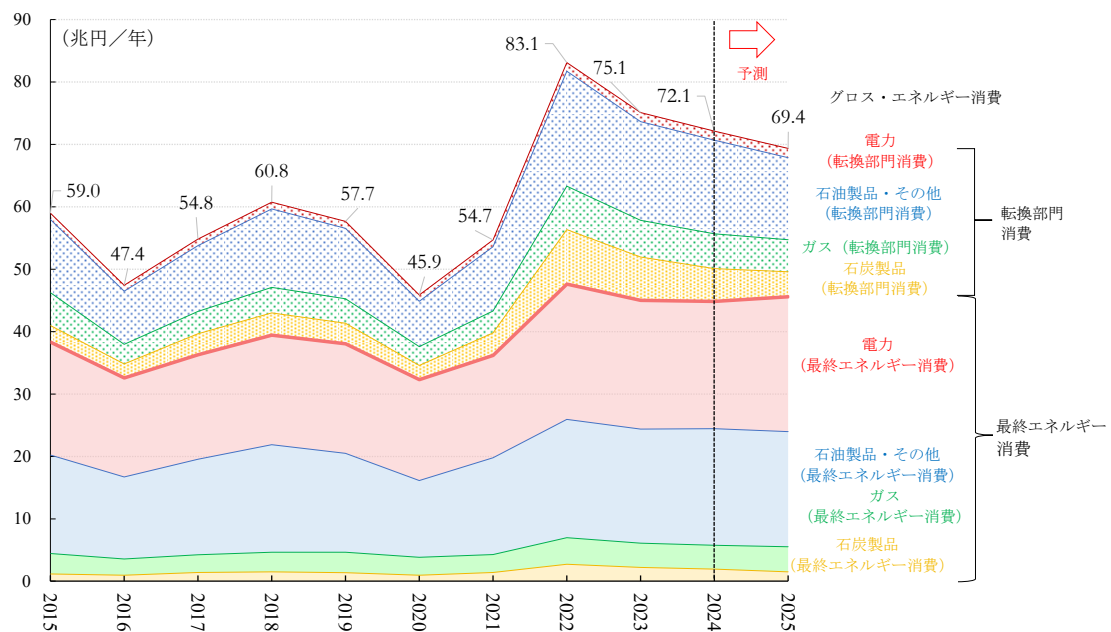
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室  
 単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は2015年1月–2025年11月（季節調整済み）。エネルギーに対する補助後のコスト（脚注2）。2025年12月値は予測値。月次名目 GDP は JMGDP（慶應義塾大学産業研究所 野村研究室）による推計値。

6.5 グロス・エネルギー消費コストの月次動向



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512© 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

6.6 グロス・エネルギー消費コストの年次動向

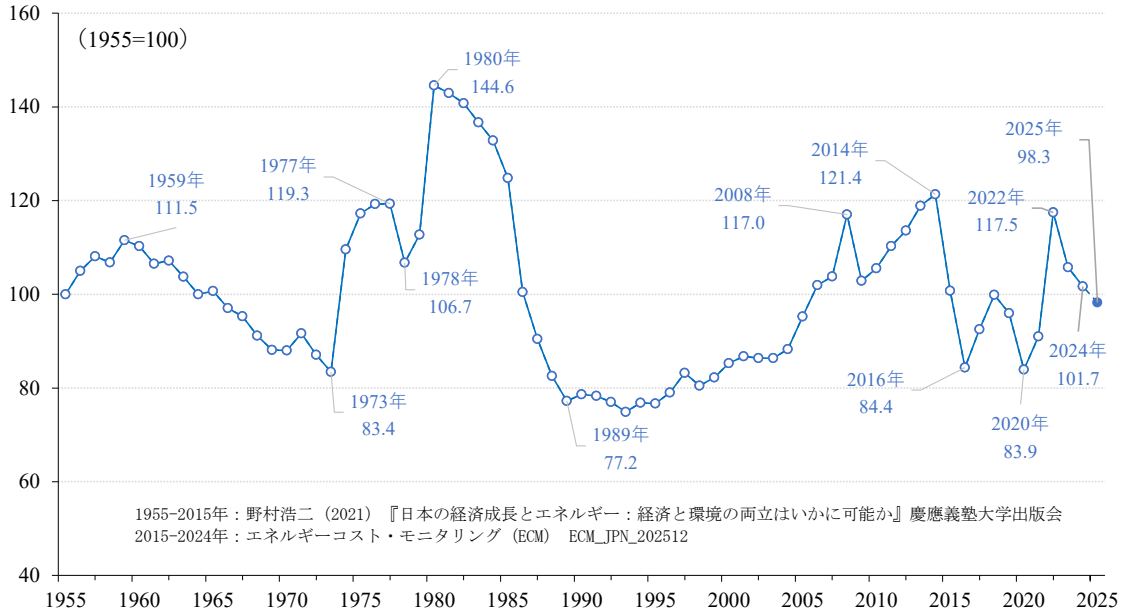


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512© 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

## 7 長期年次 RUEC 関連指標

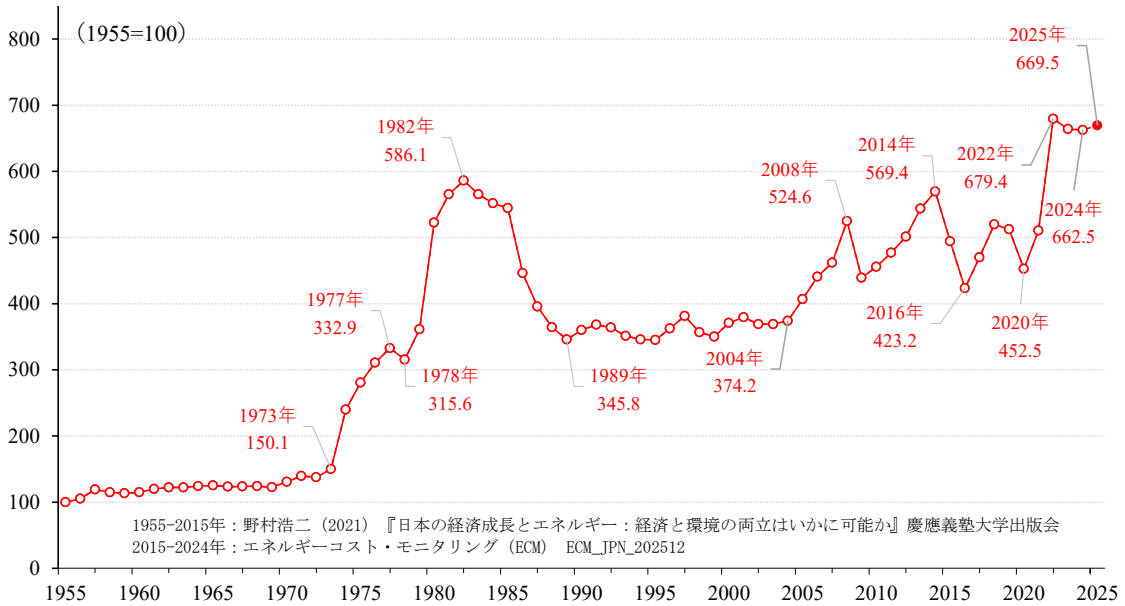
### 7.1 年次 RUEC : 1955 年 (昭和 30 年) からの長期系列

・2022 年の RUEC 水準は、近年のピークである 2014 年と並び、二度のオイルショック後の 1980 年代初めの水準へと接近したが、2024 年は 15%ほど抑制。



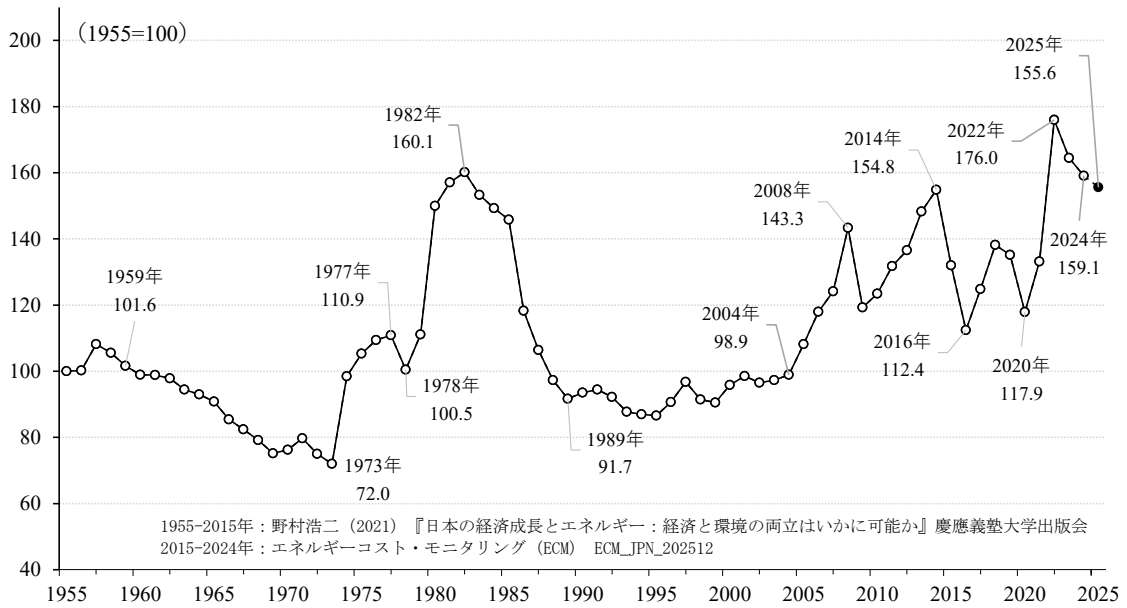
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室  
単位：1955 暦年平均=100。注：観測期間は 1955 年-2024 年。エネルギーに対する補助金による抑制後のコスト (脚注 2)。2025 年値は 2025 年 11 月実績値 (ECM 推計) までを反映した年次予測値。

### 7.2 年次名目エネルギー価格 : 1955 年 (昭和 30 年) からの長期系列



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室  
単位：1955 暦年平均=100。注：観測期間は 1955 年-2024 年。エネルギーに対する補助金による抑制後の価格 (脚注 2)。2025 年値は 2025 年 11 月実績値 (ECM 推計) までを反映した年次予測値。

7.3 年次実質エネルギー価格：1955年（昭和30年）からの長期系列

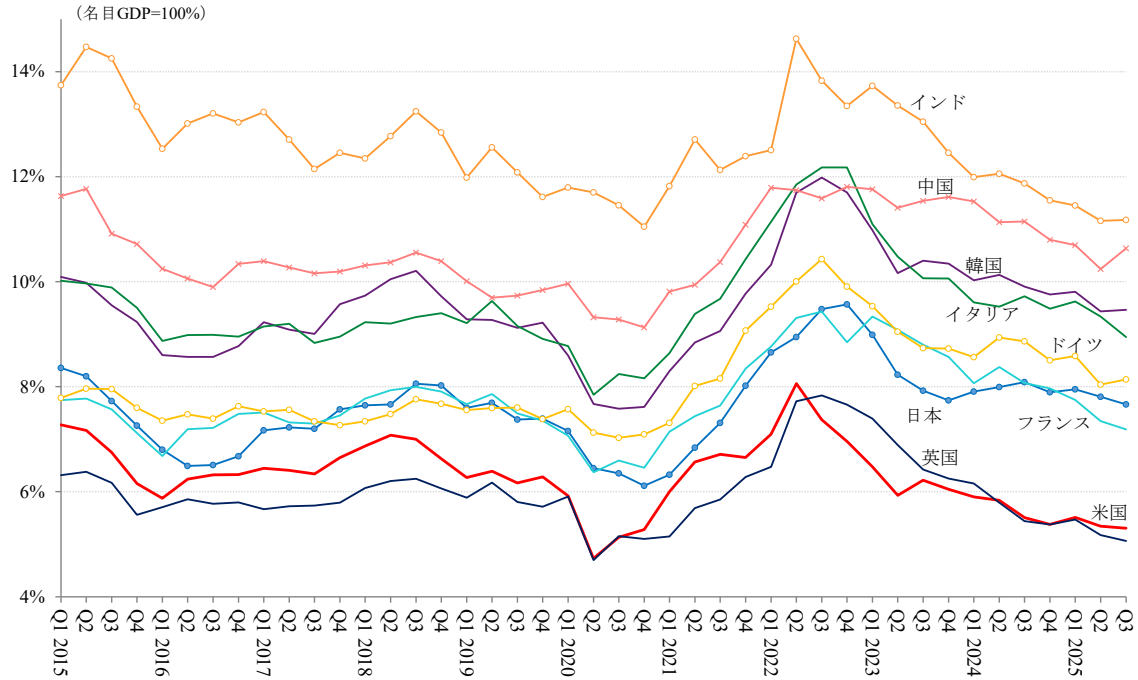


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室  
 単位：1955 暦年平均=100。注：観測期間は1955年-2024年。エネルギーに対する補助金による抑制後の価格（脚注2）。2025年値は2025年11月実績値（ECM推計）までを反映した年次予測値。

8 RUEC とその関連指標の国際比較

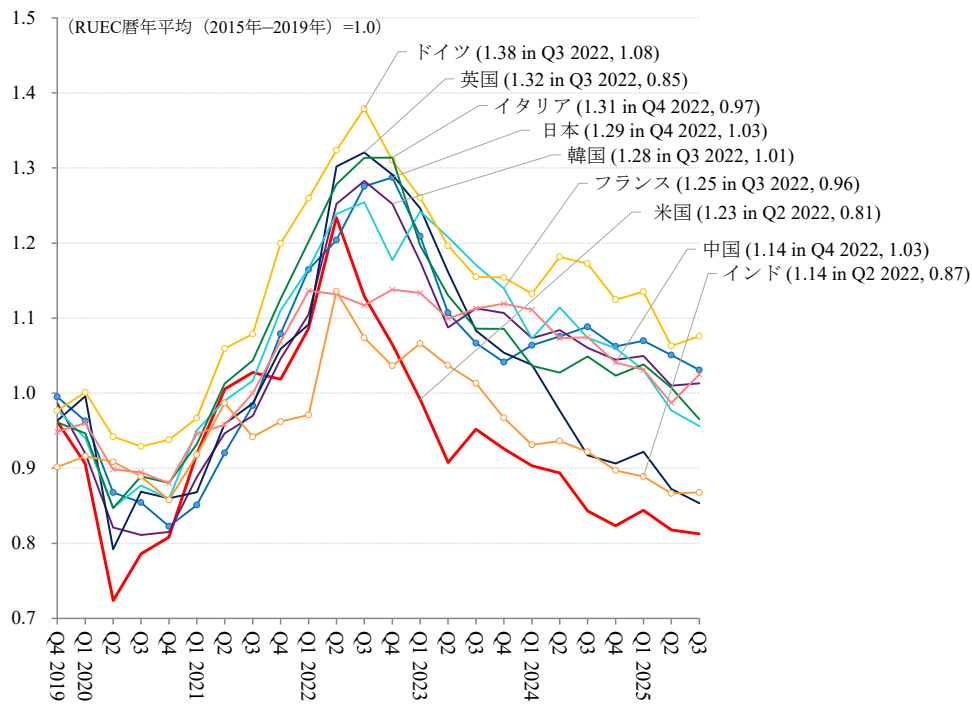
8.1 RUEC

8.1.1 RUEC 水準



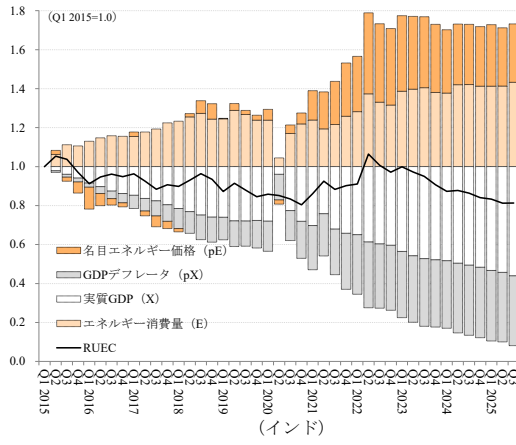
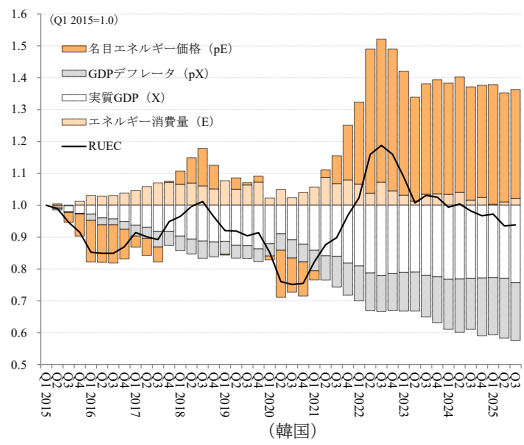
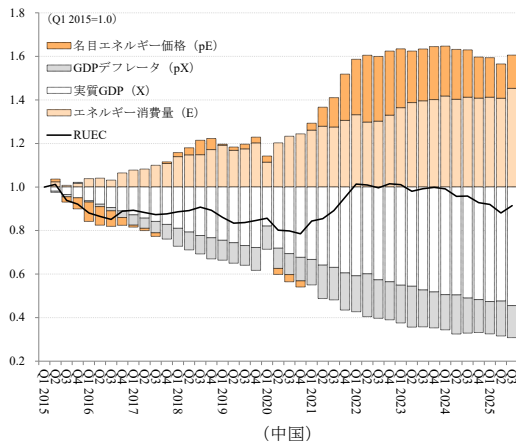
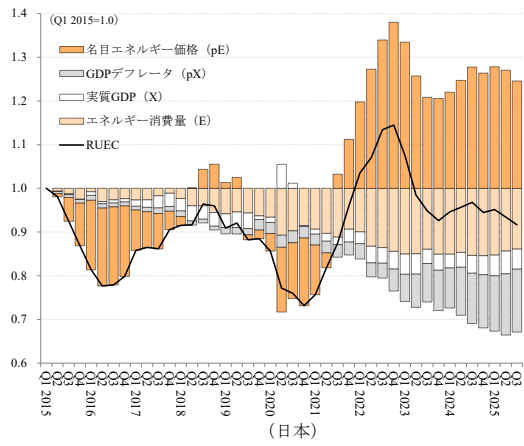
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

8.1.2 ポストコロナ期の RUEC



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

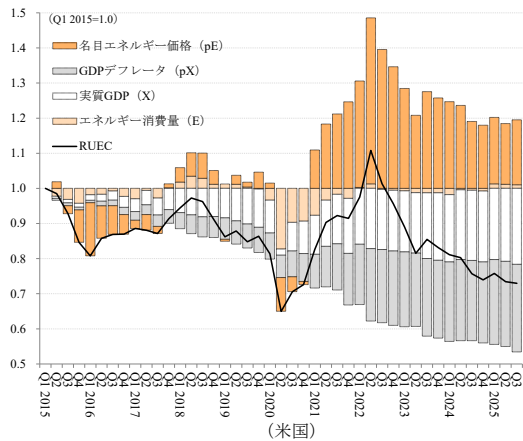
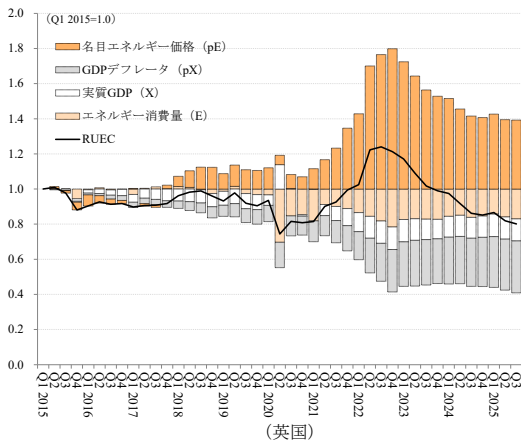
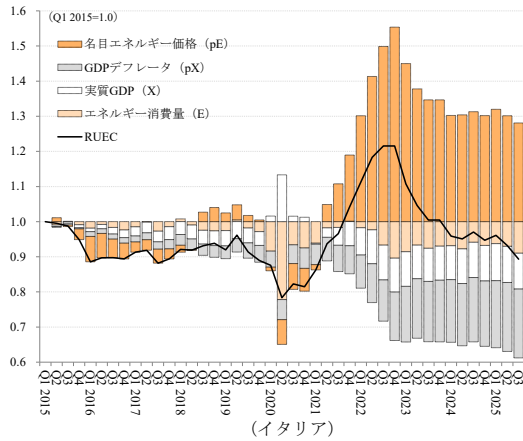
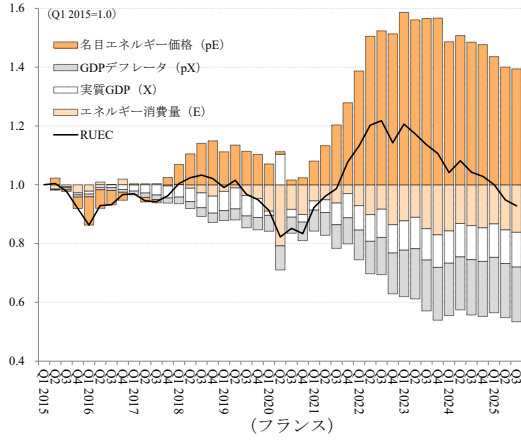
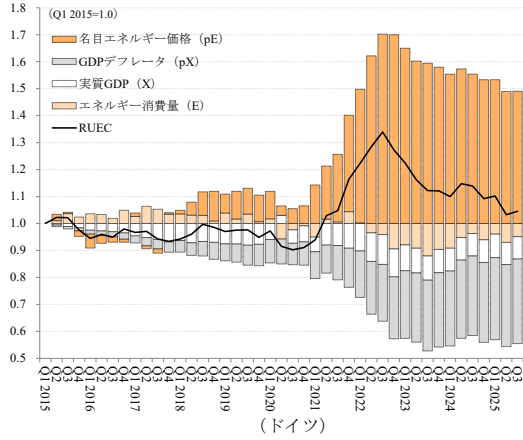
8.1.3 RUECの寄与度分解図  
・アジア (日本・中国・韓国・インド)



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015年Q1=1.0。注：観測期間は2015年Q1-2025年Q3（季節調整済み）。

・EU (ドイツ・フランス・イタリア) ・英国・米国

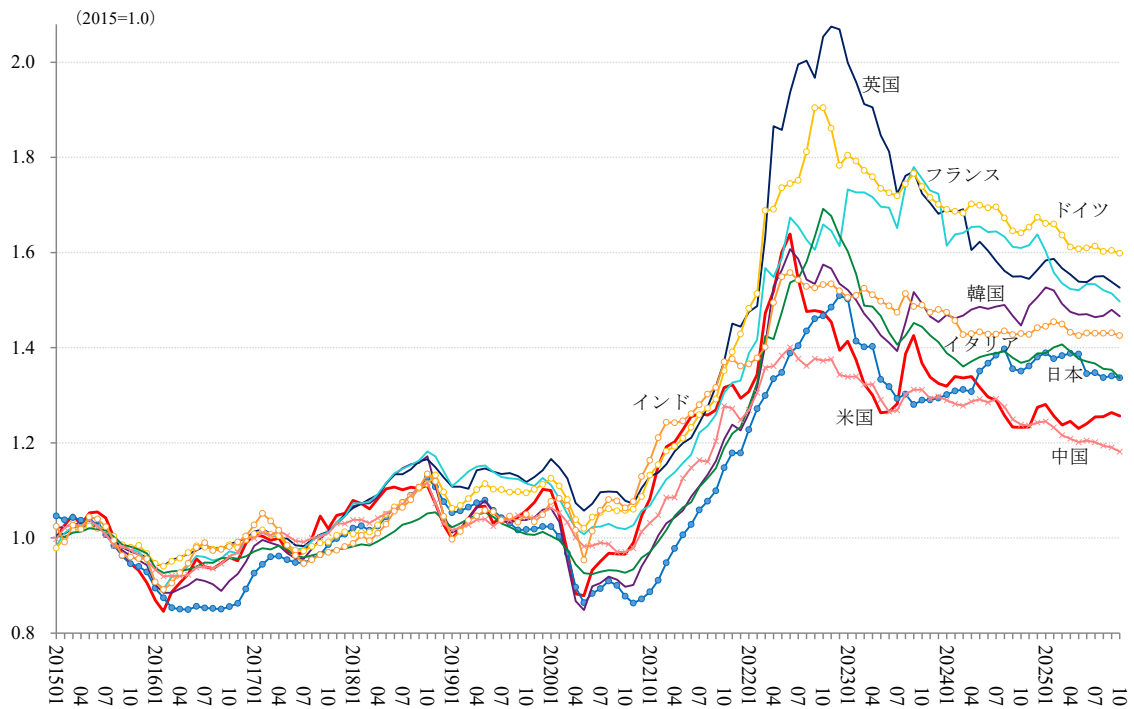


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015年Q1=1.0。注：観測期間は2015年Q1-2025年Q3 (季節調整済み)。

## 8.2 名目エネルギー価格

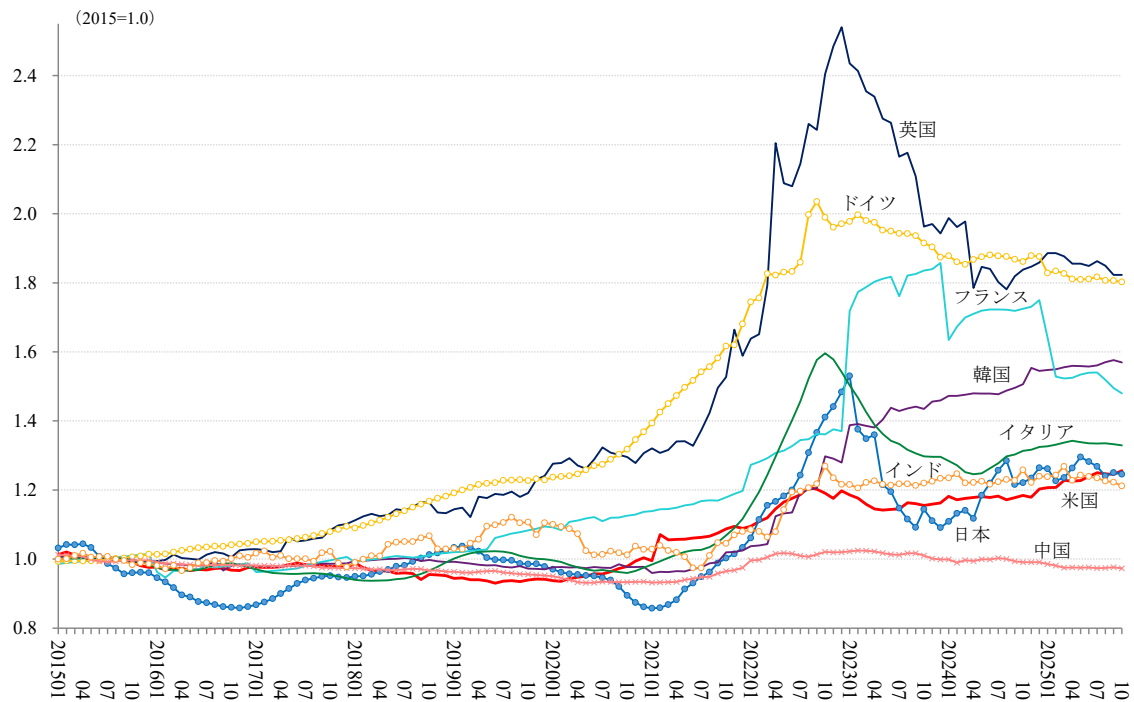
### 8.2.1 最終エネルギー消費価格



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 暦年平均値=1.0。注：観測期間は2015年1月-2025年10月（季節調整済み）。エネルギー価格への税金および補助金を含む。

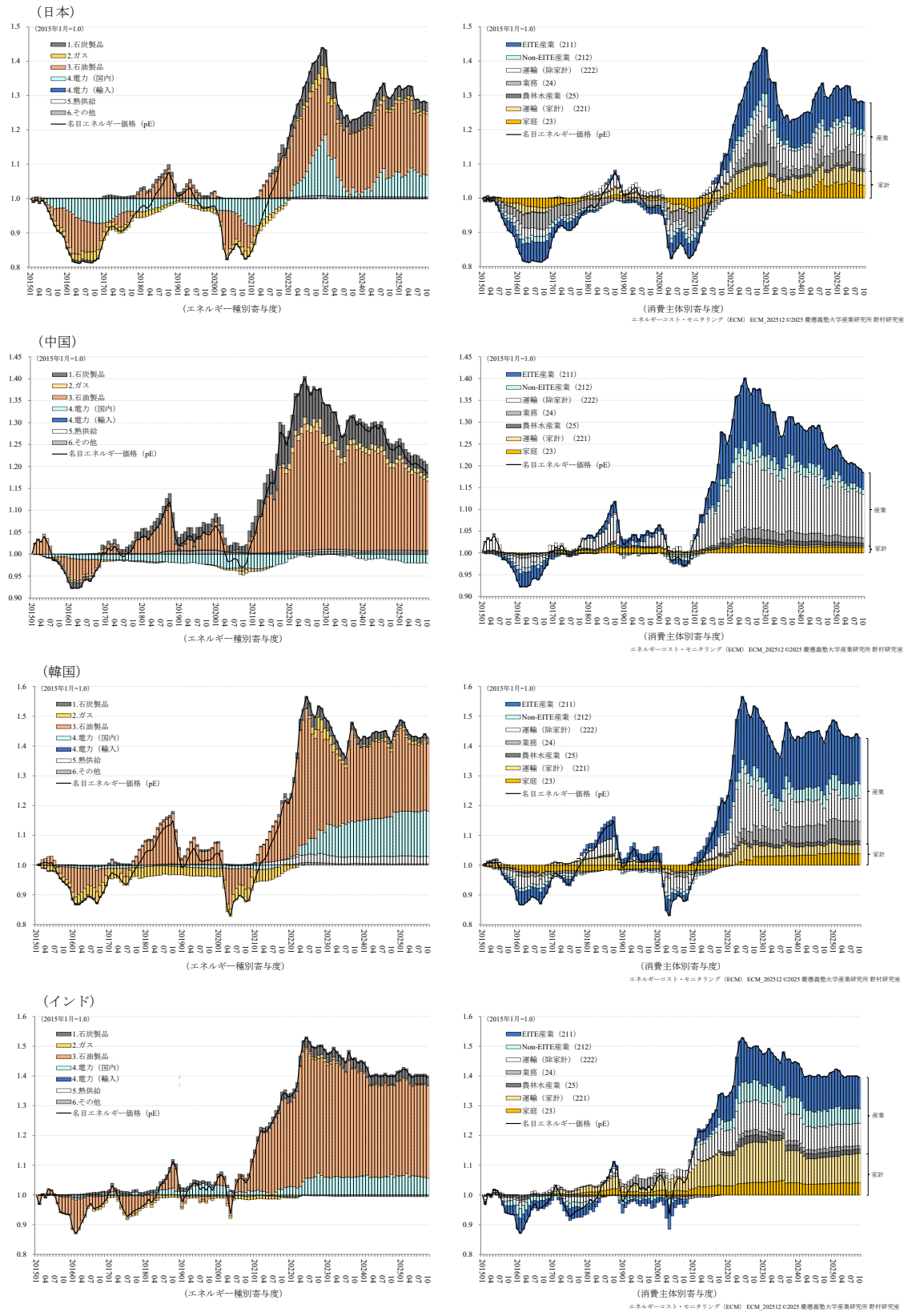
### 8.2.2 電力価格



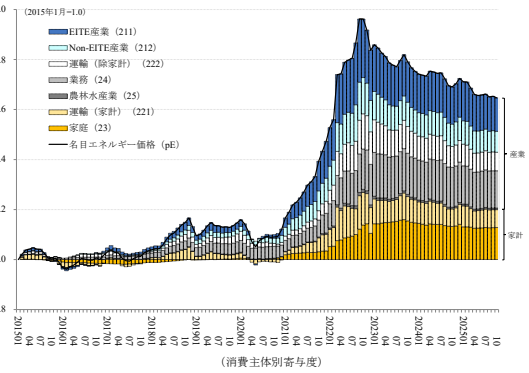
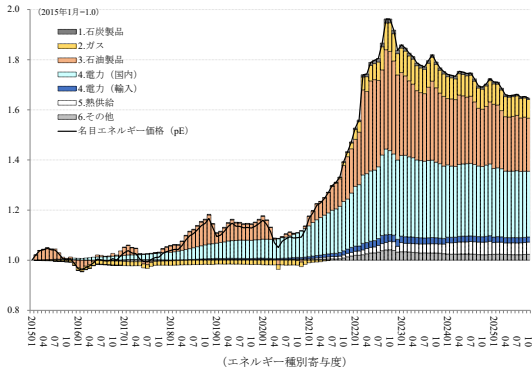
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 暦年平均値=1.0。注：観測期間は2015年1月-2025年10月（季節調整済み）。エネルギー価格への税金および補助金を含む。

8.2.3 最終エネルギー価格の寄与度分解図  
・アジア (日本・中国・韓国・インド)

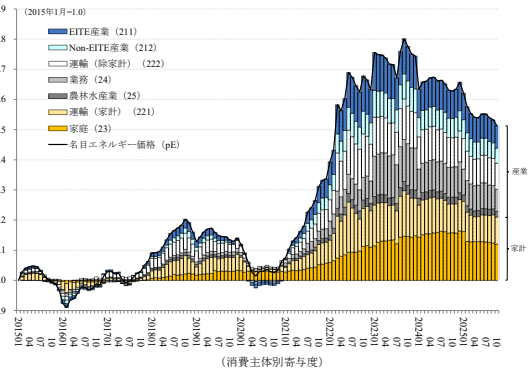
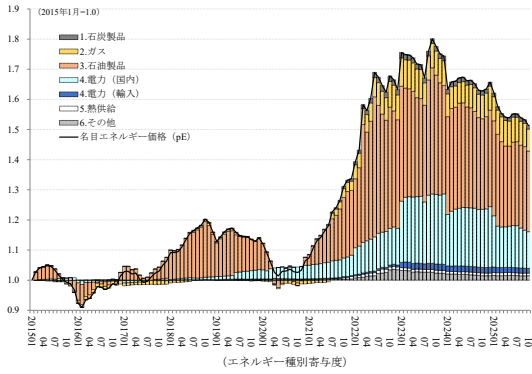


・EU (ドイツ・フランス・イタリア) ・英国・米国  
(ドイツ)



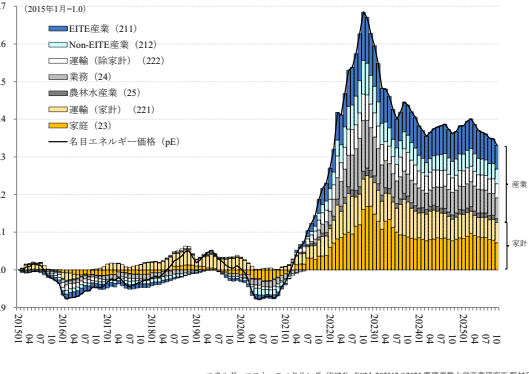
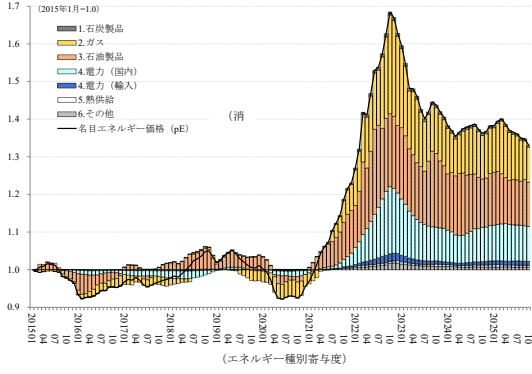
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 新村研究室

(フランス)



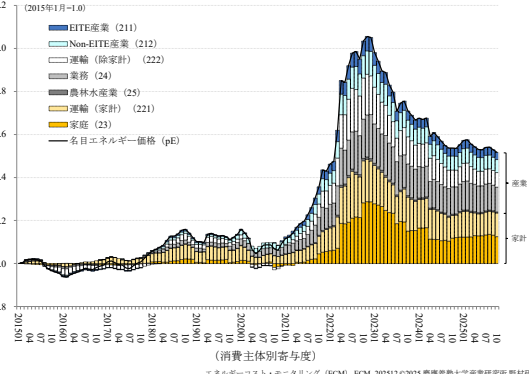
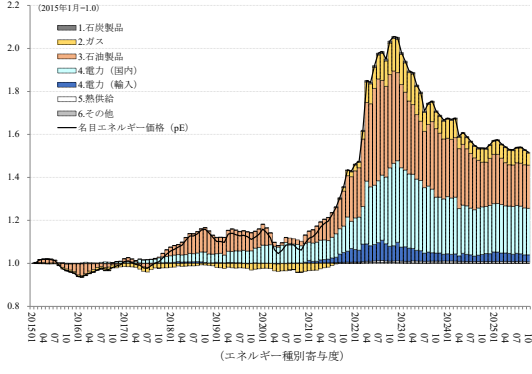
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 新村研究室

(イタリア)



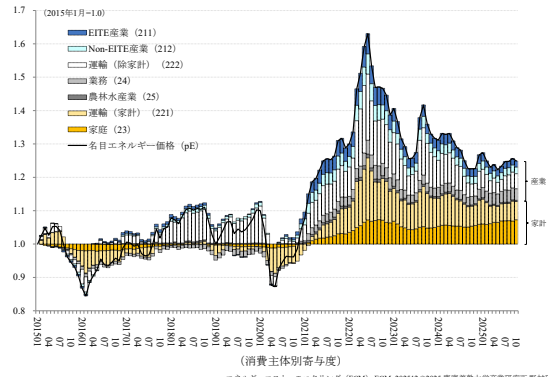
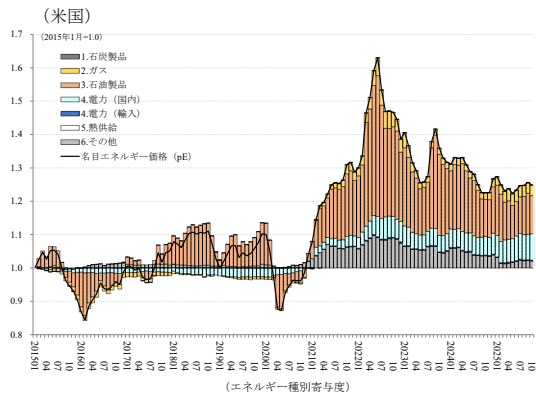
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 新村研究室

(英国)



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 新村研究室

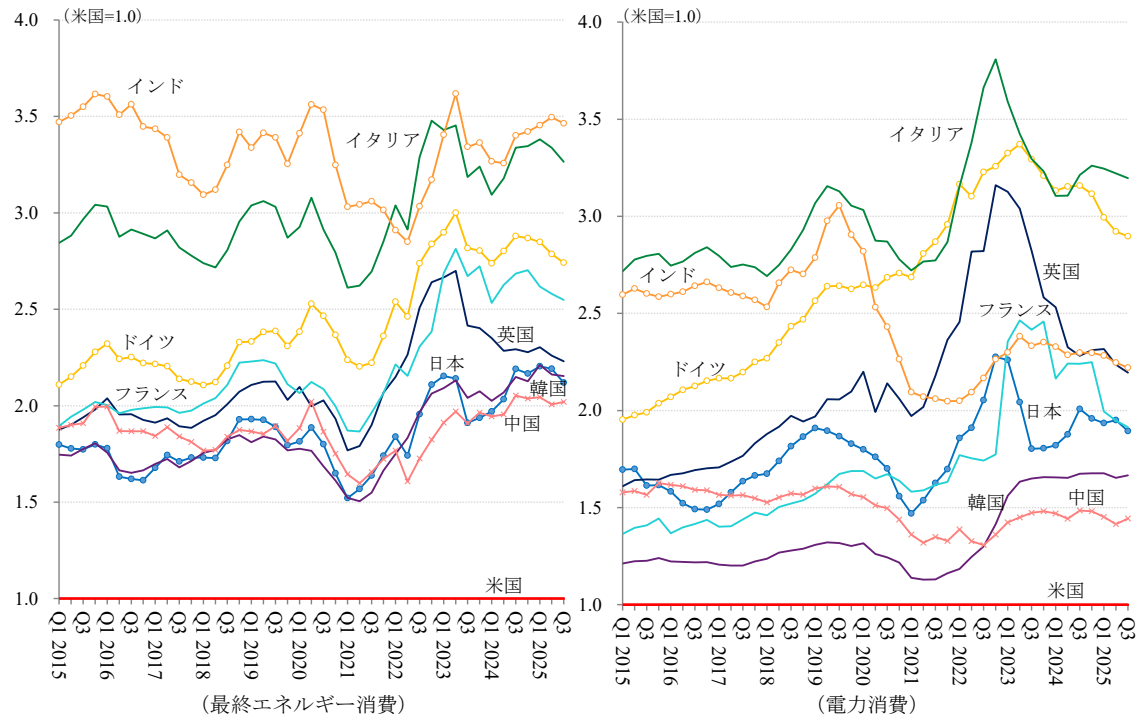
単位：2015年1月=1.0。注：観測期間は2015年1月～2025年10月（季節調整済み）。エネルギー価格への税金および補助金を含む。



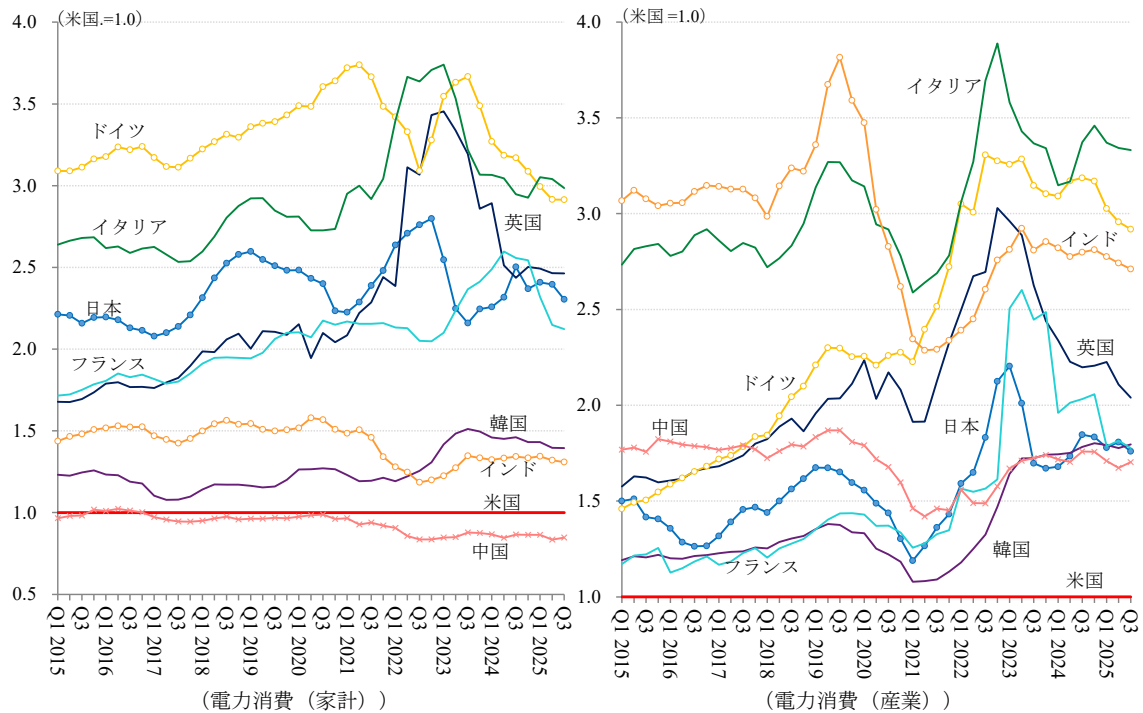
単位：2015年1月=1.0。注：観測期間は2015年1月-2025年10月（季節調整済み）。エネルギー価格への税金および補助金を含む。

エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

8.3 実質的な内外価格差 - 実質エネルギー価格水準指数 (Real PLI)



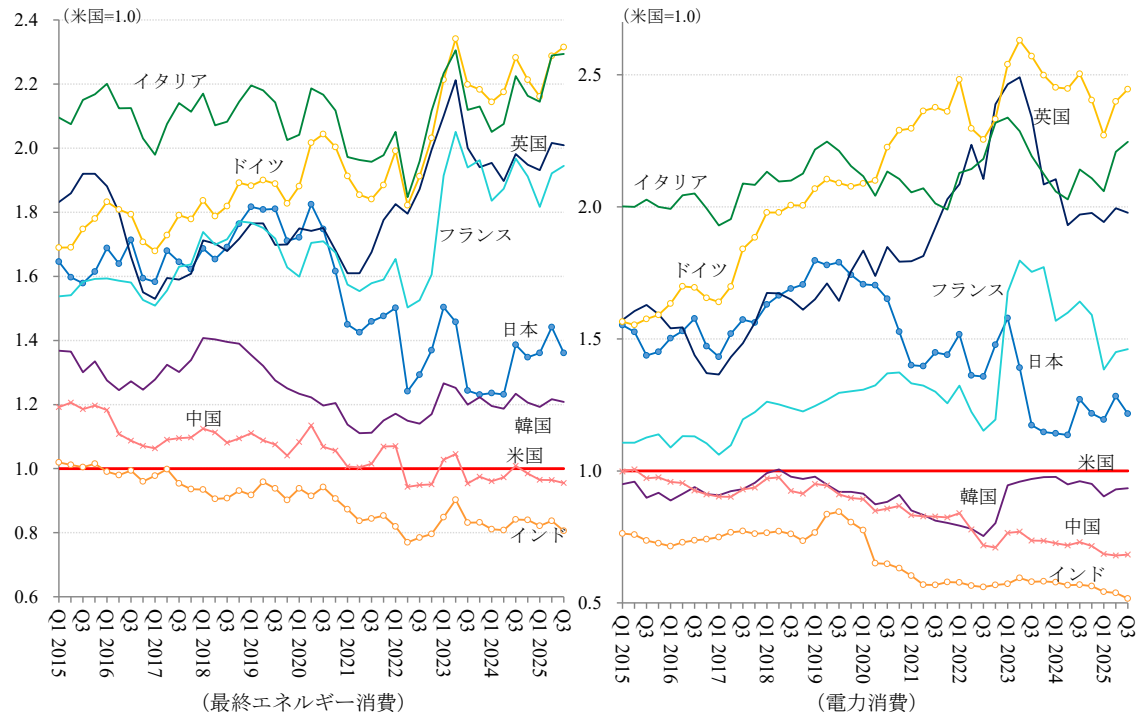
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室



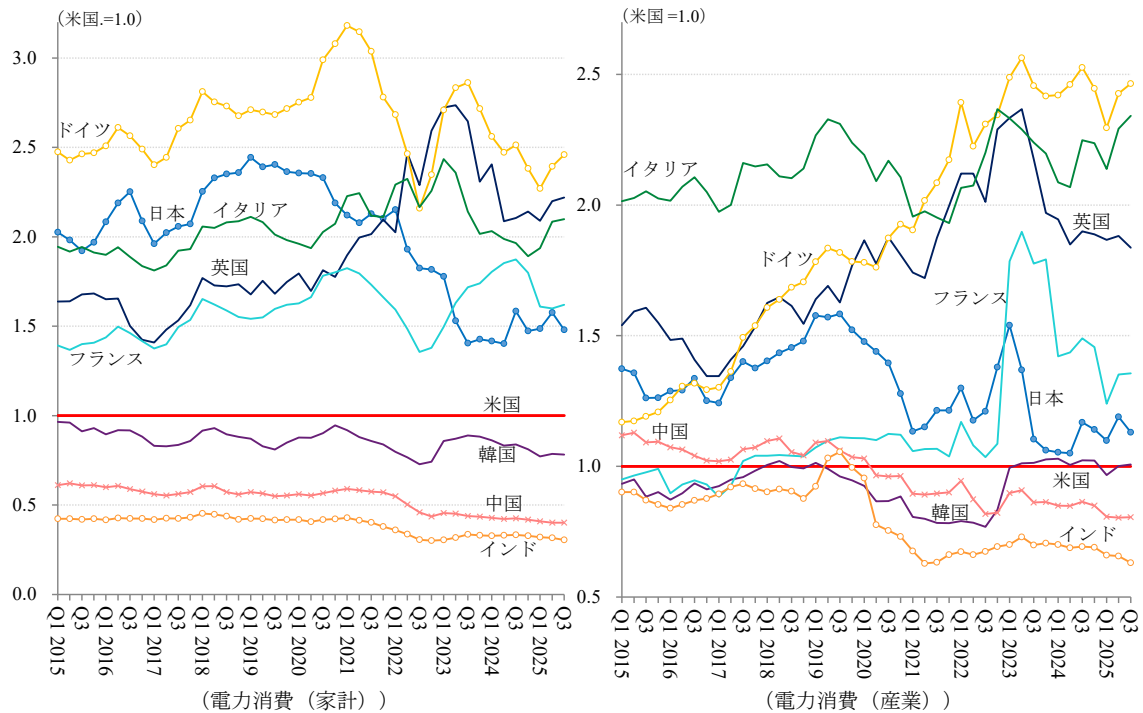
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：米国=1.0。注：観測期間は2015年Q1-2025年Q3（季節調整済み）。エネルギー価格への税金および補助金を含む。

8.4 名目エネルギー価格水準指数 (Nominal PLI)



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_202512 ©2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：米国=1.0。注：観測期間は2015年Q1-2025年Q3（季節調整済み）。エネルギー価格への税金および補助金を含む。

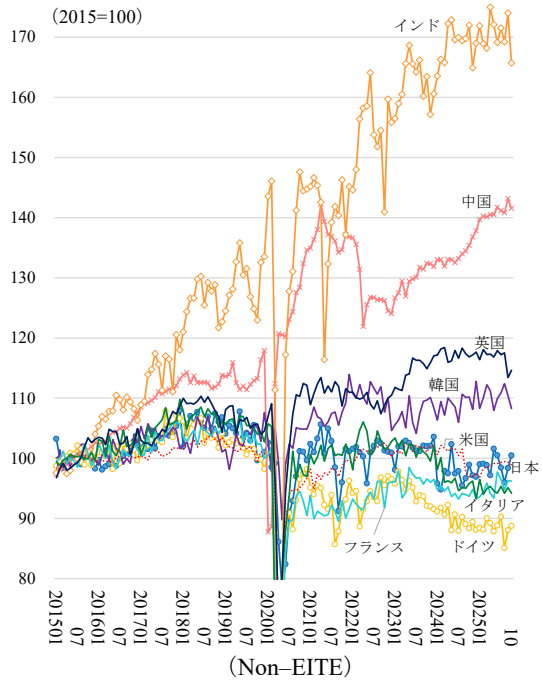
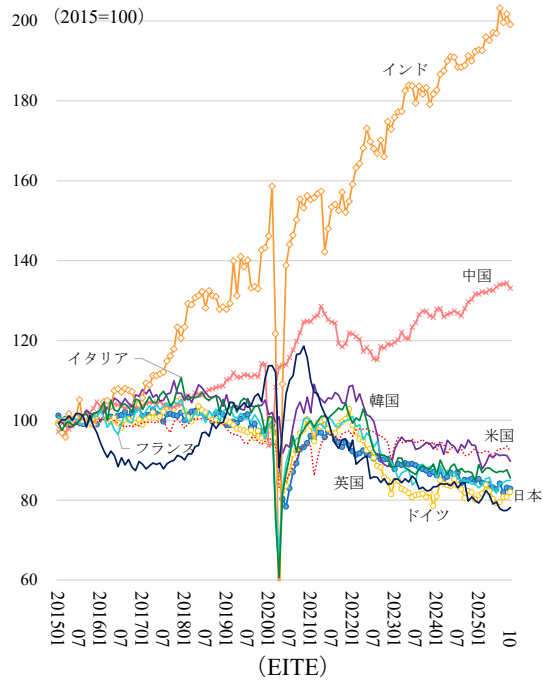
8.5 Nominal/Real PLI マトリックス

		(Nominal PLI)									(Real PLI)																	
		比較国									比較国																	
a.Q3 2025	b.2015-19	中国	インド	日本	韓国	フランス	ドイツ	イタリア	英国	米国	a.Q3 2025	b.2015-19	中国	インド	日本	韓国	フランス	ドイツ	イタリア	英国	米国							
c.ln(a/b)											c.ln(a/b)																	
参照国	中国	1.00	0.84	1.43	1.26	2.04	2.42	2.40	2.10	1.05	1.00	1.72	1.05	1.07	1.26	1.36	1.62	1.10	0.50	1.00	1.81	0.95	0.94	1.09	1.20	1.55	1.06	0.54
		(0%)	(-2%)	(-6%)	(6%)	(33%)	(41%)	(24%)	(31%)	(15%)	(0%)	(-5%)	(10%)	(13%)	(14%)	(13%)	(4%)	(4%)	(-8%)									
	インド	1.18	1.00	1.69	1.50	2.41	2.87	2.85	2.49	1.24	0.58	1.00	0.61	0.62	0.74	0.79	0.94	0.64	0.29	0.55	1.00	0.52	0.52	0.60	0.66	0.86	0.58	0.30
		(2%)	(0%)	(-3%)	(8%)	(35%)	(43%)	(26%)	(33%)	(18%)	(5%)	(0%)	(16%)	(18%)	(20%)	(18%)	(9%)	(10%)	(-2%)									
	日本	0.70	0.59	1.00	0.89	1.43	1.70	1.69	1.48	0.73	0.95	1.63	1.00	1.02	1.20	1.29	1.54	1.05	0.47	1.06	1.92	1.00	0.99	1.16	1.26	1.64	1.12	0.57
		(6%)	(3%)	(0%)	(12%)	(38%)	(46%)	(29%)	(36%)	(21%)	(-10%)	(-16%)	(0%)	(2%)	(4%)	(2%)	(-6%)	(-6%)	(-18%)									
	韓国	0.79	0.67	1.13	1.00	1.61	1.92	1.90	1.66	0.83	0.94	1.61	0.98	1.00	1.18	1.27	1.52	1.04	0.46	1.07	1.93	1.01	1.00	1.17	1.27	1.66	1.13	0.57
		(-7%)	(-9%)	(-12%)	(0%)	(26%)	(34%)	(17%)	(24%)	(9%)	(-13%)	(-18%)	(-3%)	(0%)	(2%)	(0%)	(-9%)	(-9%)	(-21%)									
	フランス	0.49	0.41	0.70	0.62	1.00	1.19	1.18	1.03	0.51	0.79	1.36	0.83	0.85	1.00	1.08	1.28	0.88	0.39	0.92	1.66	0.87	0.86	1.00	1.09	1.42	0.97	0.49
		(-33%)	(-36%)	(-38%)	(-27%)	(0%)	(8%)	(-9%)	(-2%)	(-18%)	(-15%)	(-20%)	(-4%)	(-2%)	(0%)	(-2%)	(-10%)	(-10%)	(-22%)									
	ドイツ	0.41	0.35	0.59	0.52	0.84	1.00	0.99	0.87	0.43	0.74	1.26	0.77	0.79	0.93	1.00	1.19	0.81	0.36	0.84	1.52	0.79	0.79	0.92	1.00	1.30	0.89	0.45
		(-41%)	(-43%)	(-46%)	(-35%)	(-8%)	(0%)	(-17%)	(-10%)	(-26%)	(-13%)	(-18%)	(-3%)	(0%)	(2%)	(0%)	(-9%)	(-9%)	(-21%)									
イタリア	0.42	0.35	0.59	0.53	0.85	1.01	1.00	0.88	0.44	0.62	1.06	0.65	0.66	0.78	0.84	1.00	0.68	0.31	0.64	1.17	0.61	0.60	0.70	0.77	1.00	0.68	0.34	
	(-24%)	(-26%)	(-29%)	(-17%)	(9%)	(17%)	(0%)	(7%)	(-8%)	(-4%)	(-10%)	(6%)	(9%)	(10%)	(9%)	(0%)	(0%)	(-12%)										
英国	0.48	0.40	0.68	0.60	0.97	1.15	1.14	1.00	0.50	0.91	1.55	0.95	0.97	1.14	1.23	1.46	1.00	0.45	0.95	1.72	0.90	0.89	1.03	1.13	1.47	1.00	0.51	
	(-31%)	(-33%)	(-37%)	(-25%)	(2%)	(10%)	(-7%)	(0%)	(-16%)	(-4%)	(-10%)	(6%)	(8%)	(10%)	(8%)	(0%)	(0%)	(-12%)										
米国	0.95	0.81	1.36	1.21	1.94	2.32	2.29	2.01	1.00	2.02	3.46	2.12	2.15	2.55	2.74	3.26	2.23	1.00	1.87	3.39	1.77	1.75	2.04	2.23	2.90	1.98	1.00	
	(-16%)	(-18%)	(-21%)	(-9%)	(17%)	(26%)	(8%)	(15%)	(0%)	(8%)	(2%)	(18%)	(21%)	(22%)	(21%)	(12%)	(12%)	(0%)										

単位：参照国=1.0。注：各計数の上段は 2025 年 Q3、下段は 2015-2019 年平均値、括弧内は対数成長率。参照国に比して比較国で相対的にエネルギー内外価格差が縮小したものは背景色を青、拡大したものは赤としている。

9 EITE 生産指数

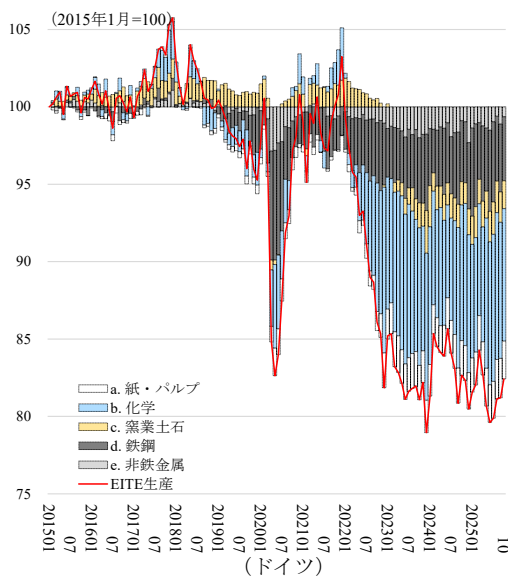
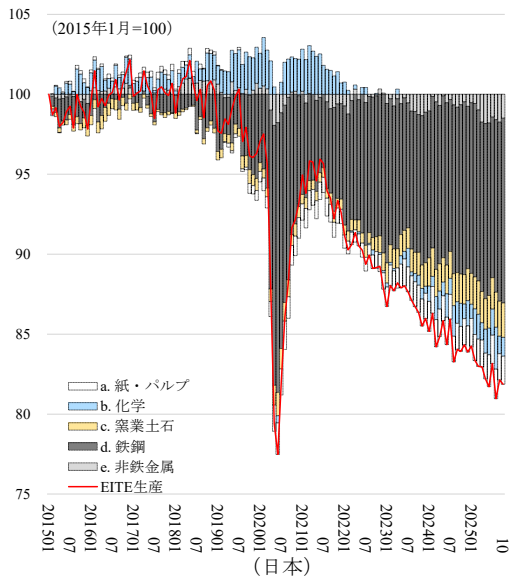
9.1 EITE 生産指数の国際比較



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

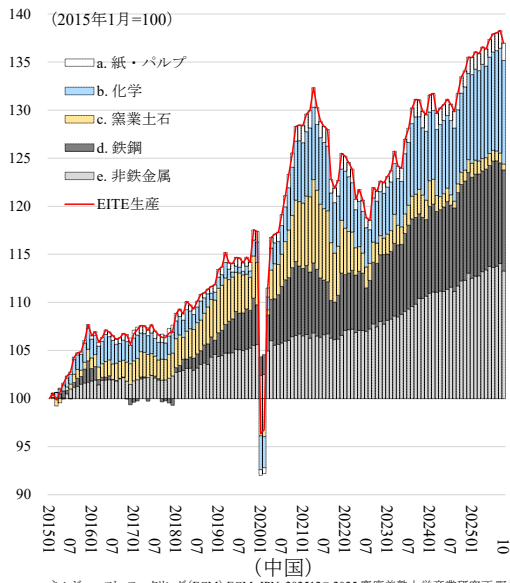
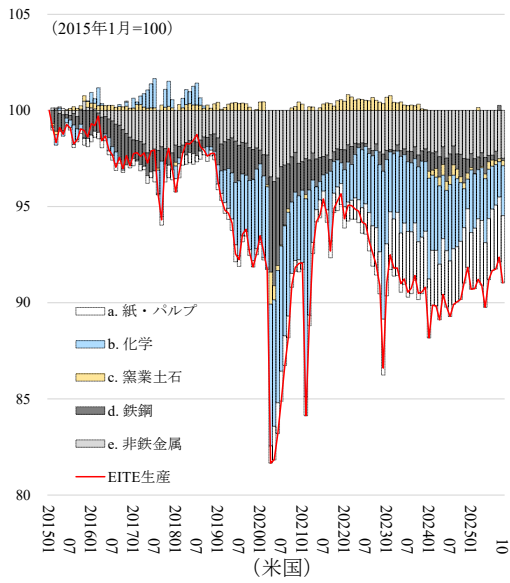
単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は 2015 年 1 月–2025 年 10 月。左図は EITE 生産指数、右図は Non-EITE 生産指数。EITE 生産は、紙・パルプ製品、化学製品（医薬品を除く）、窯業土石製品、鉄鋼製品、非鉄金属製品の集計生産量として定義。Non-EITE 生産は、それ以外の製品の集計生産量。EITE（Energy-intensive trade-exposed）生産は、エネルギー多消費生産の略。

9.2 EITE 生産指数と部門別寄与度

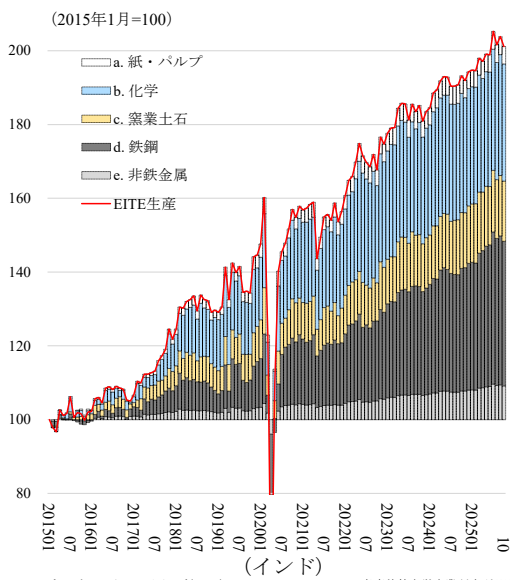
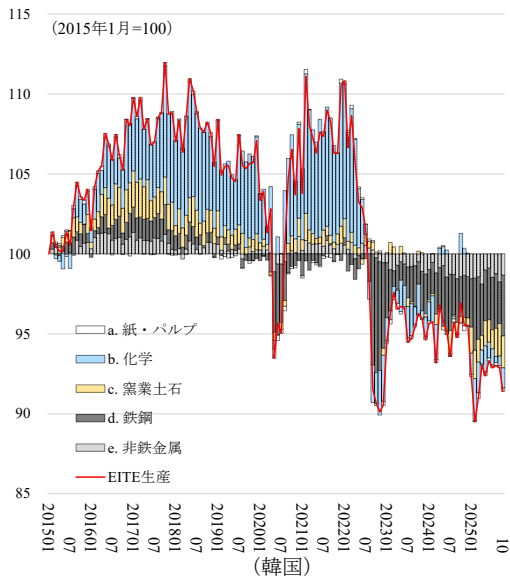


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 年 1 月=100。注：観測期間は 2015 年 1 月–2025 年 10 月。赤線は EITE 生産指数であり、その内訳は紙・パルプ製品、化学製品（医薬品を除く）、窯業土石製品、鉄鋼製品、非鉄金属製品の寄与度。

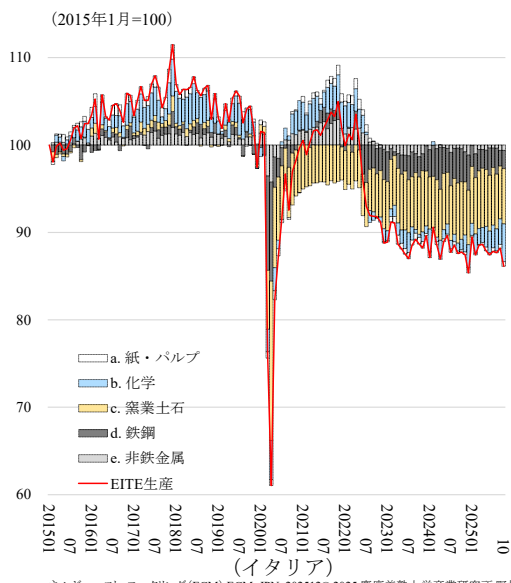
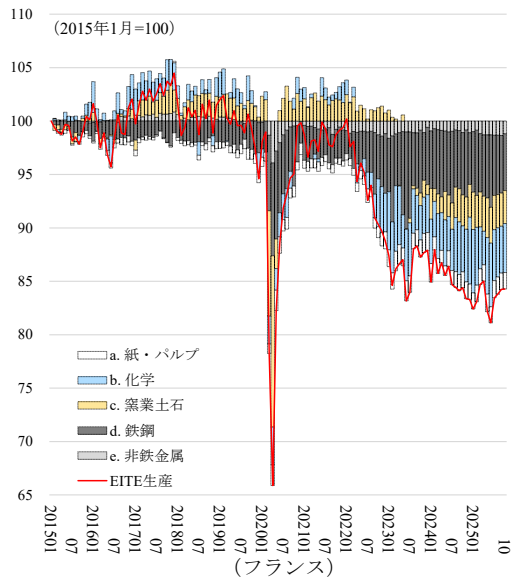


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

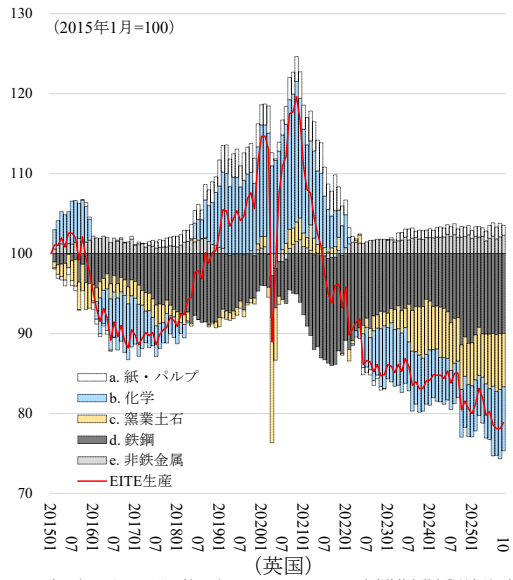


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015年1月=100。注：観測期間は2015年1月～2025年10月。赤線はEITE生産指数であり、その内訳は紙・パルプ製品、化学製品（医薬品を除く）、窯業土石製品、鉄鋼製品、非鉄金属製品の寄与度。



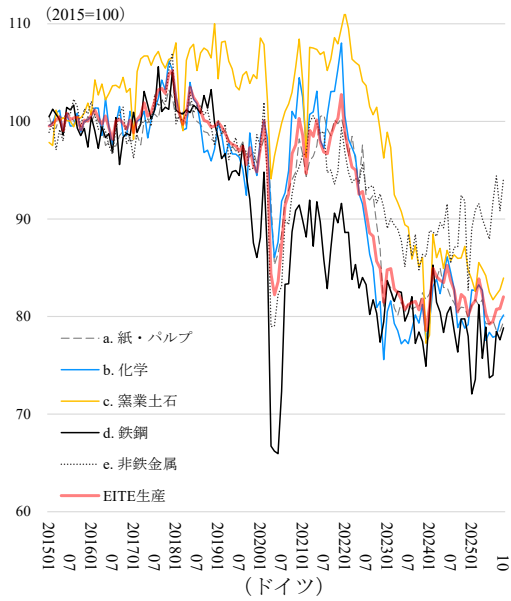
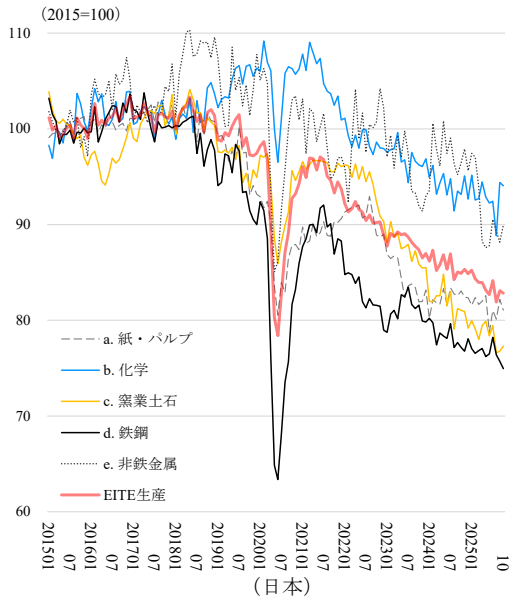
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室



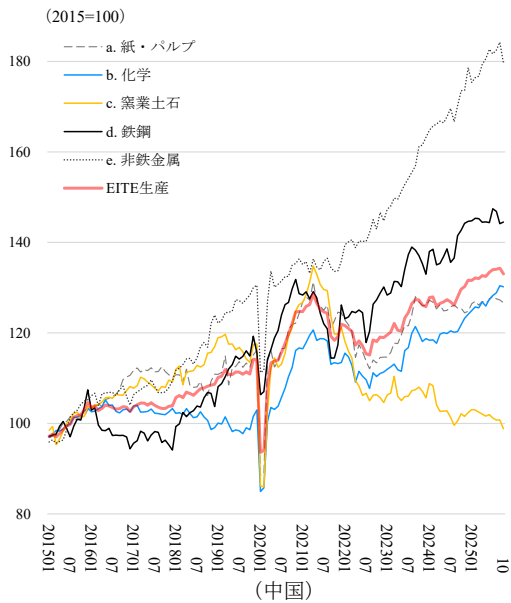
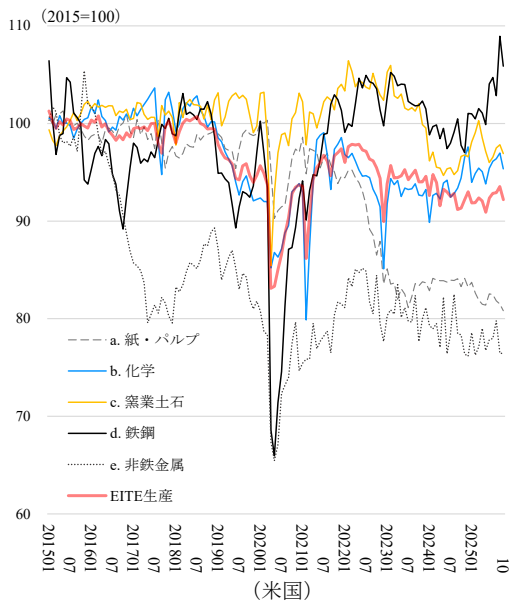
エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015年1月=100。注：観測期間は2015年1月-2025年10月。赤線はEITE生産指数であり、その内訳は紙・パルプ製品、化学製品（医薬品を除く）、窯業土石製品、鉄鋼製品、非鉄金属製品の寄与度。

9.3 国別 EITE 生産指数

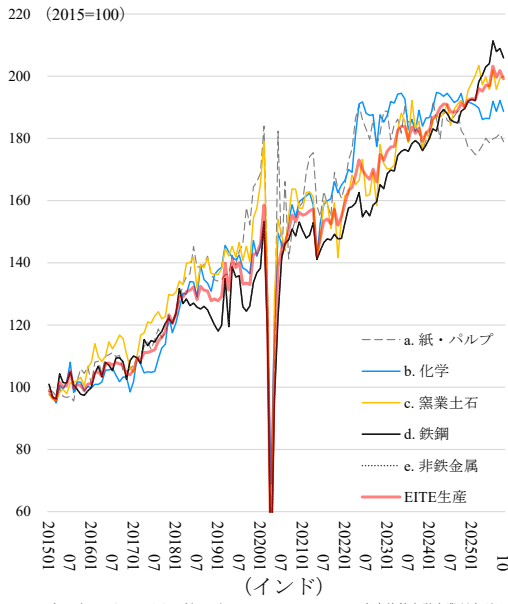
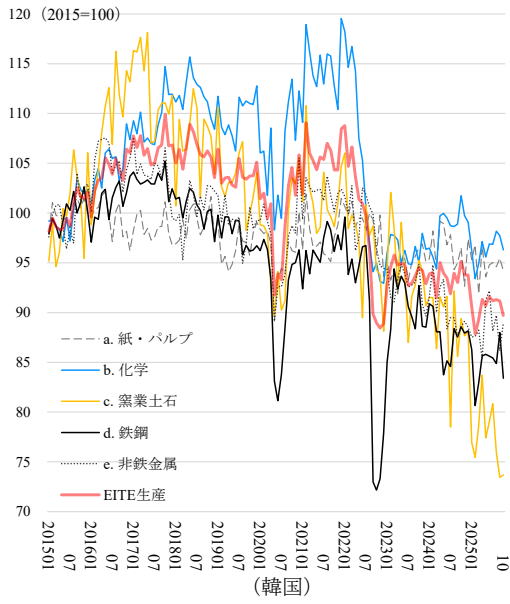


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶徳義塾大学産業研究所 野村研究室

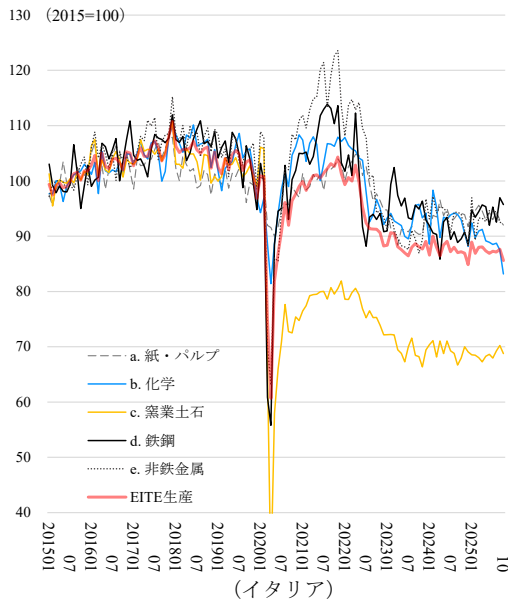
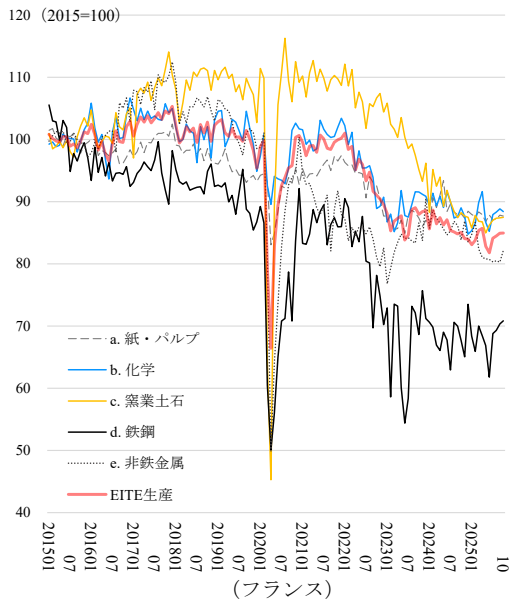


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶徳義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は 2015 年 1 月-2025 年 10 月。

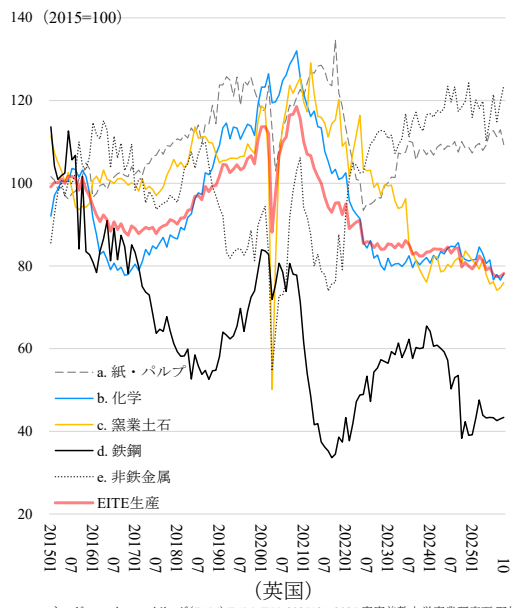


エネルギーコスト・モニタリング(ECM) ECM\_JPN\_202512© 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室



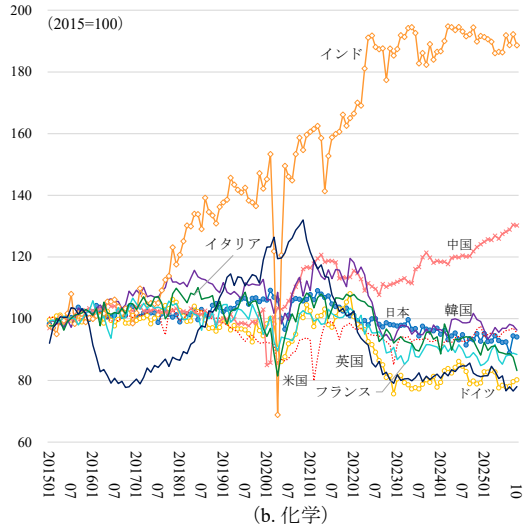
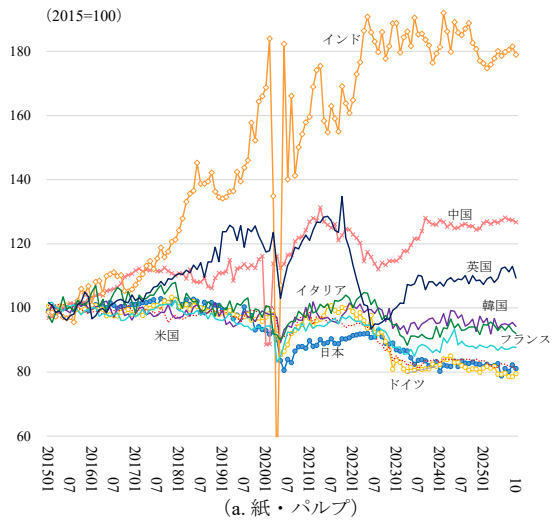
エネルギーコスト・モニタリング(ECM) ECM\_JPN\_202512© 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は2015年1月-2025年10月。

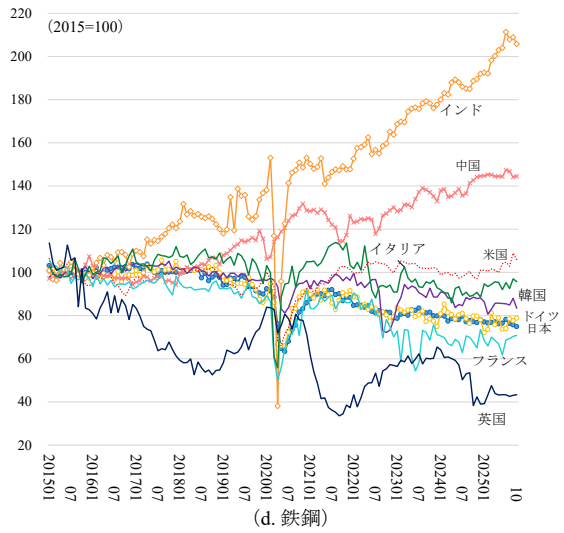
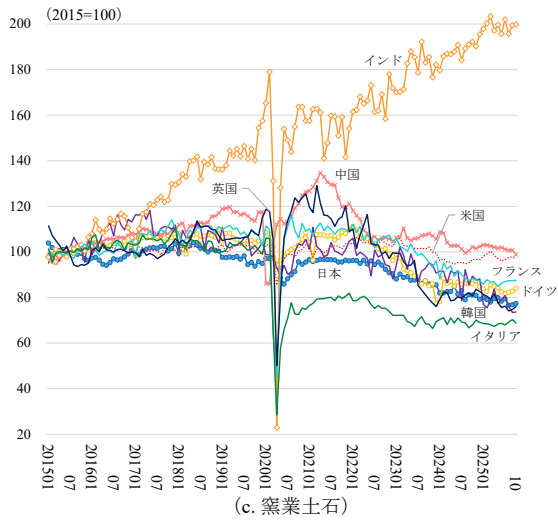


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室  
 単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は 2015 年 1 月-2025 年 10 月。

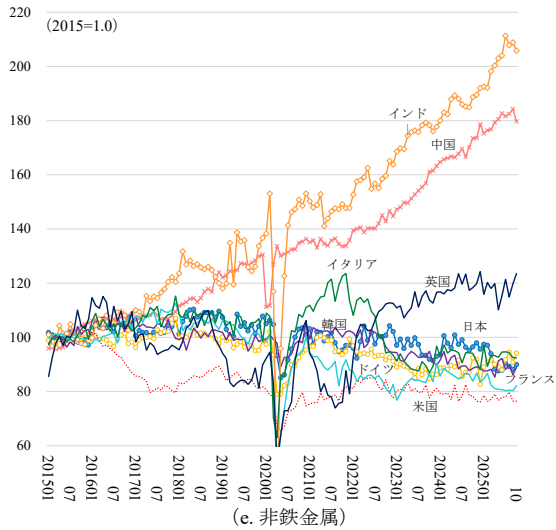
9.4 部門別 EITE 生産指数



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

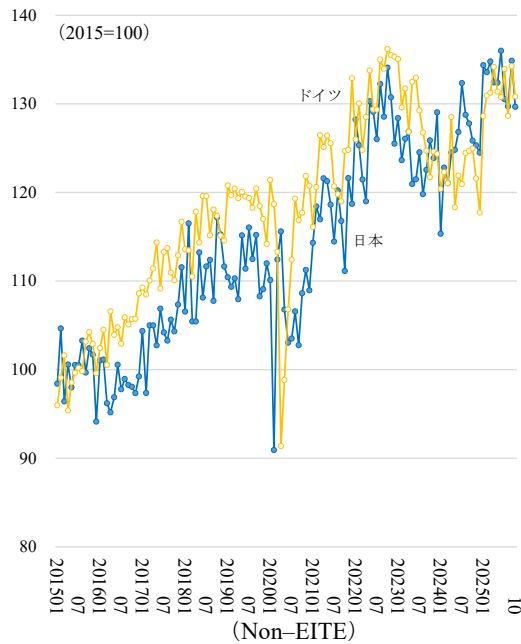
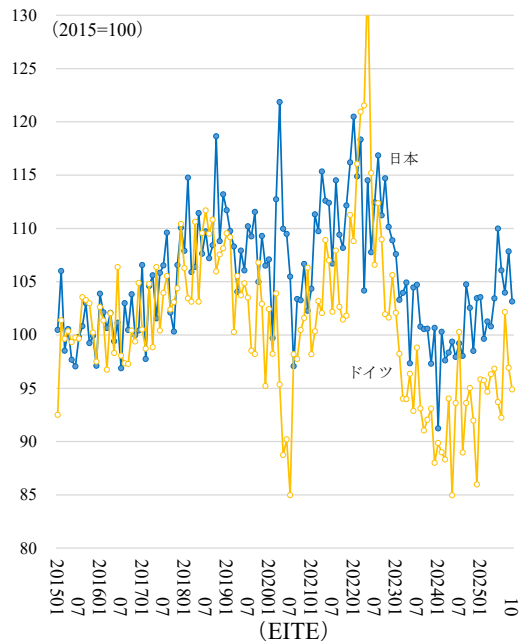


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は 2015 年 1 月-2025 年 10 月。

10 EITE 輸入指数

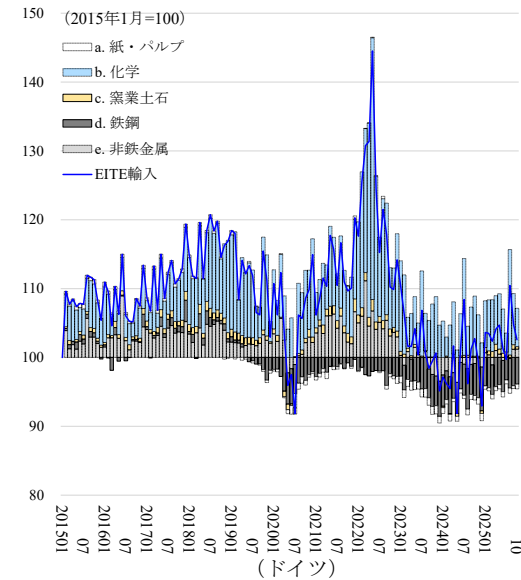
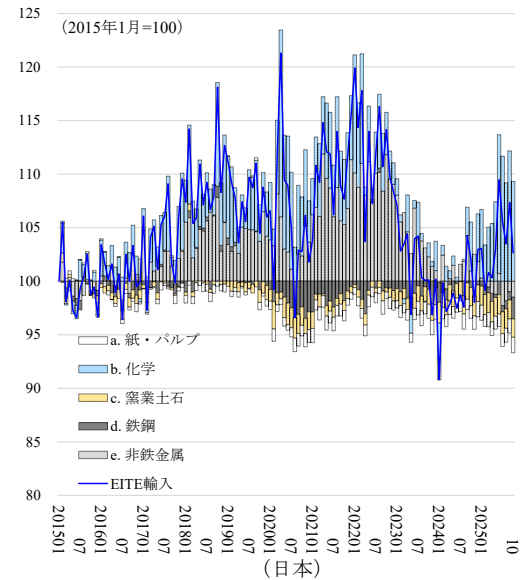
10.1 EITE 輸入指数の国際比較



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は 2015 年 1 月–2025 年 10 月。左図は EITE 輸入指数、右図は Non-EITE 輸入指数。EITE 輸入は、紙・パルプ製品、化学製品（医薬品を除く）、窯業土石製品、鉄鋼製品、非鉄金属製品の集計輸入量として定義。Non-EITE 輸入は、それ以外の製品の集計輸入量。EITE（Energy-intensive trade-exposed）輸入は、エネルギー多消費輸入の略。

10.2 EITE 輸入指数と部門別寄与度

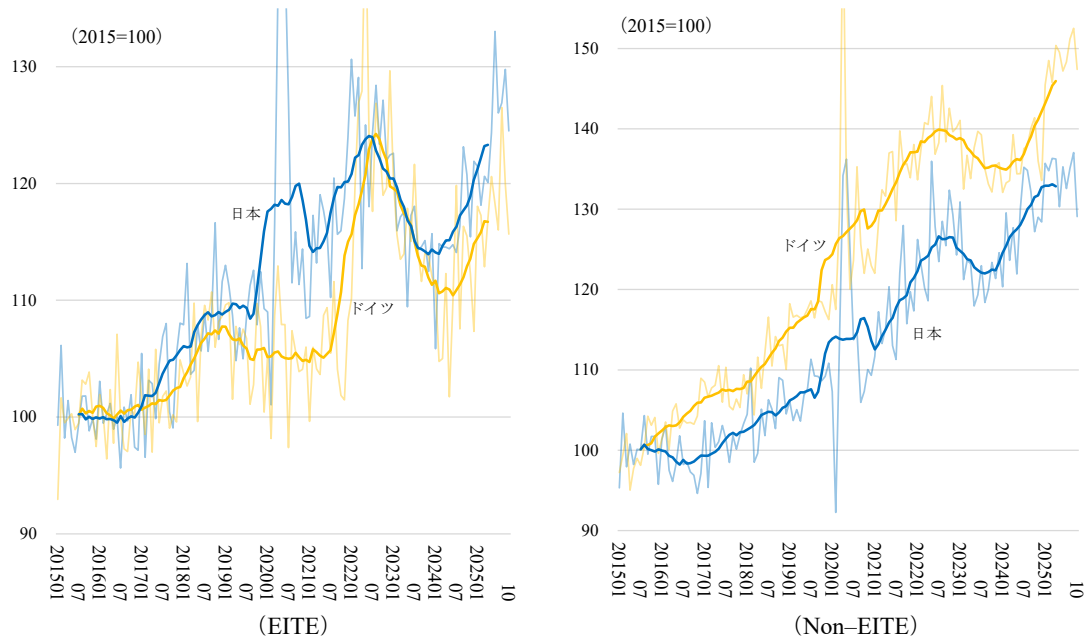


エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 年 1 月=100。注：観測期間は 2015 年 1 月–2025 年 10 月。青線は EITE 輸入指数であり、その内訳は紙・パルプ製品、化学製品（医薬品を除く）、窯業土石製品、鉄鋼製品、非鉄金属製品の寄与度。

11 EITE 輸入生産比指数

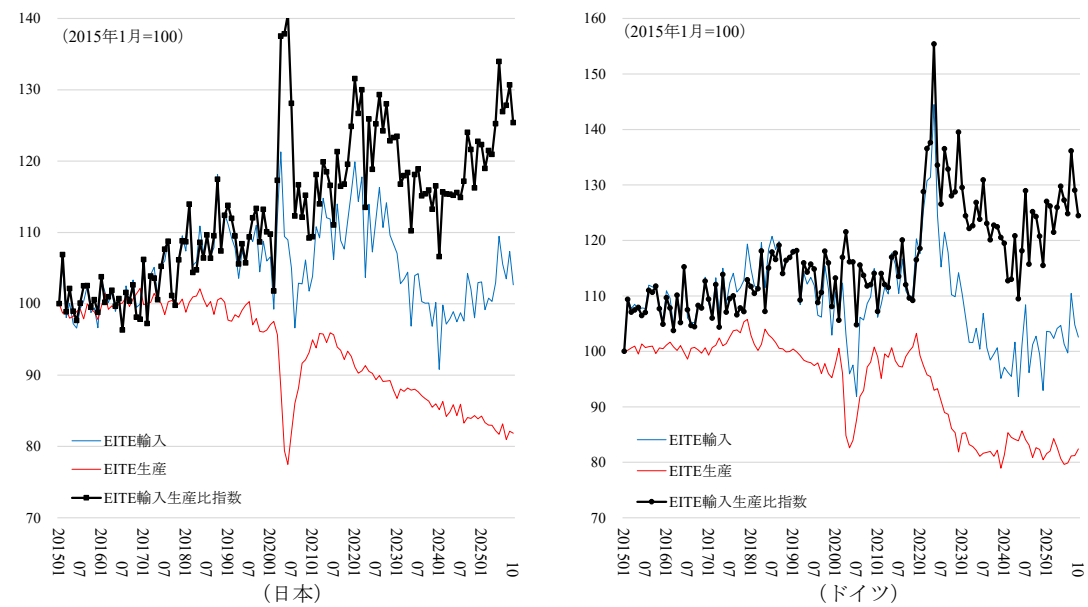
11.1 EITE 輸入生産比指数の国際比較



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 暦年平均=100。注：観測期間は 2015 年 1 月–2025 年 10 月（太線は 13 か月移動平均）。輸入生産比指数は輸入指数 / 生産指数により定義。輸入と生産の規模が異なるため両者の相対指数の変化は、EITE と Non-EITE 間比較には注意。

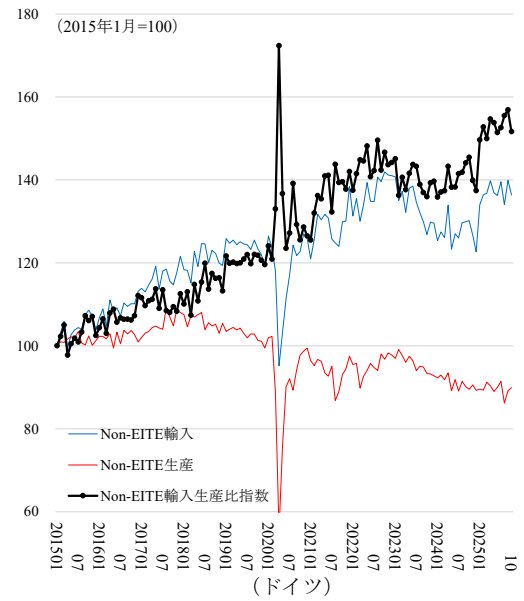
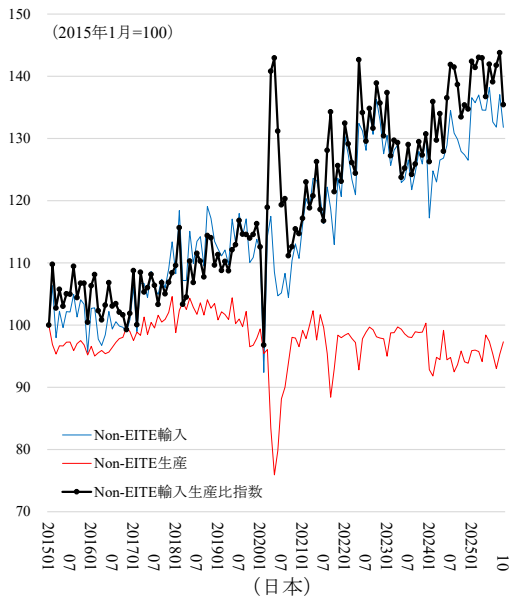
11.2 EITE 輸入生産比指数



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015 年 1 月=100。注：観測期間は 2015 年 1 月–2025 年 10 月。輸入生産比指数は輸入指数 / 生産指数により定義。

11.3 Non-EITE 輸入生産比指数



エネルギーコスト・モニタリング (ECM) ECM\_JPN\_202512 © 2025 慶應義塾大学産業研究所 野村研究室

単位：2015年1月=100。注：観測期間は2015年1月-2025年10月。輸入生産比指数は輸入指数/生産指数により定義。

## 12 RUEC 関連指標の集約表

## 12.1 成長率

- ・2025年11月のRUECは、実質エネ価格0.5%の下落、エネ生産性1.0%の増加により、前月比1.5%減少。
- ・2025年11月のRUECは2015暦年平均値より3.9%低く、転換期（ボトム）となる2020年11月より24.5%高い。
- ・2025年第3四半期のRUECは、前期比1.8%の減少、観測期間で最低水準である2020年第4四半期より25.0%高い。

	四半期成長率(対前期)			月次成長率(対前月)		
	2025年Q1	2025年Q2	2025年Q3	2025年9月	2025年10月	2025年11月
a. RUEC (=b-c=e-d)	0.6%	-1.6%	-1.8%	2.0%	-0.6%	-1.5%
b. 実質エネルギー価格 (=b1-b2)	0.7%	-1.9%	-2.8%	0.2%	-0.5%	-0.5%
b1. 名目エネルギー価格	1.2%	-0.4%	-2.3%	0.4%	-0.3%	-0.3%
b2. GDPデフレーター	0.5%	1.5%	0.5%	0.2%	0.2%	0.2%
c. エネルギー生産性 (=c1-c2)	0.0%	-0.3%	-1.1%	-1.8%	0.1%	1.0%
c1. 実質GDP	0.4%	0.5%	-0.6%	0.4%	0.1%	0.1%
c2. エネルギー消費量	0.3%	0.8%	0.5%	2.2%	-0.1%	-0.9%
d. 名目GDP (=b2+c1)	0.9%	2.1%	-0.1%	0.6%	0.3%	0.3%
e. エネルギーコスト (=b1+c2)	1.5%	0.4%	-1.8%	2.6%	-0.3%	-1.2%

単位：%。第1-3系列は前四半期比、第4-6系列は前月比成長率。注：推計値の最新月（第6系列）およびその前月（第5系列）は速報値、それ以前（第4系列）は確報値。

## 12.2 指数

	四半期			月次		
	2025年Q1	2025年Q2	2025年Q3	2025年9月	2025年10月	2025年11月
a. RUEC (=b/c=e/d)	101.1	99.4	97.6	98.2	97.6	96.1
b. 実質エネルギー価格 (=b1/b2)	121.1	118.8	115.4	115.3	114.8	114.2
b1. 名目エネルギー価格	137.1	136.5	133.4	133.3	133.0	132.6
b2. GDPデフレーター	113.2	115.0	115.6	115.6	115.9	116.1
c. エネルギー生産性 (=c1/c2)	119.7	119.4	118.1	117.4	117.5	118.7
c1. 実質GDP	104.9	105.4	104.8	105.0	105.1	105.2
c2. エネルギー消費量	87.6	88.3	88.7	89.5	89.4	88.6
d. 名目GDP (=b2*c1)	118.8	121.2	121.1	121.4	121.8	122.1
e. エネルギーコスト (=b1*c2)	120.0	120.5	118.3	119.2	118.9	117.5

単位：2015暦年平均=100。注：推計値の最新月およびその前月は速報値、それ以前は確報値。

13 時系列データ

13.1 最終エネルギー消費額

	a. 最終エネルギー消費額					
		b. 石油製品	c. 石炭製品	c. 電力 (自家発電を含む)	d. ガス	e. その他の エネルギー
2015	38,309 (100.0)	15,258 (39.8)	1,160 (3.0)	18,080 (47.2)	3,269 (8.5)	541
2016	32,582 (100.0)	12,600 (38.7)	961 (3.0)	15,886 (48.8)	2,594 (8.0)	542
2017	36,285 (100.0)	14,735 (40.6)	1,408 (3.9)	16,724 (46.1)	2,847 (7.8)	571
2018	39,424 (100.0)	16,648 (42.2)	1,512 (3.8)	17,538 (44.5)	3,135 (8.0)	591
2019	38,062 (100.0)	15,261 (40.1)	1,368 (3.6)	17,566 (46.2)	3,275 (8.6)	592
2020	32,316 (100.0)	11,767 (36.4)	966 (3.0)	16,193 (50.1)	2,853 (8.8)	537
2021	36,203 (100.0)	14,952 (41.3)	1,388 (3.8)	16,400 (45.3)	2,895 (8.0)	568
2022	47,623 (100.0)	18,166 (38.1)	2,715 (5.7)	21,697 (45.6)	4,266 (9.0)	778
2023	45,008 (100.0)	17,531 (39.0)	2,215 (4.9)	20,611 (45.8)	3,878 (8.6)	772
2024	44,835 (100.0)	17,938 (40.0)	1,951 (4.4)	20,394 (45.5)	3,814 (8.5)	738
2022 Q1	11,037 (100.0)	4,453 (40.3)	544 (4.9)	4,950 (44.9)	922 (8.4)	168
2022 Q2	11,544 (100.0)	4,602 (39.9)	694 (6.0)	5,129 (44.4)	938 (8.1)	182
2022 Q3	12,306 (100.0)	4,652 (37.8)	798 (6.5)	5,532 (45.0)	1,119 (9.1)	204
2022 Q4	12,736 (100.0)	4,460 (35.0)	679 (5.3)	6,086 (47.8)	1,286 (10.1)	225
2023 Q1	12,222 (100.0)	4,356 (35.6)	627 (5.1)	5,868 (48.0)	1,157 (9.5)	214
2023 Q2	11,310 (100.0)	4,311 (38.1)	586 (5.2)	5,253 (46.4)	959 (8.5)	201
2023 Q3	10,802 (100.0)	4,435 (41.1)	494 (4.6)	4,843 (44.8)	849 (7.9)	180
2023 Q4	10,674 (100.0)	4,429 (41.5)	508 (4.8)	4,647 (43.5)	913 (8.5)	178
2024 Q1	10,819 (100.0)	4,463 (41.3)	520 (4.8)	4,751 (43.9)	906 (8.4)	179
2024 Q2	11,163 (100.0)	4,594 (41.2)	504 (4.5)	4,926 (44.1)	952 (8.5)	187
2024 Q3	11,527 (100.0)	4,393 (38.1)	483 (4.2)	5,477 (47.5)	984 (8.5)	189
2024 Q4	11,326 (100.0)	4,487 (39.6)	445 (3.9)	5,239 (46.3)	972 (8.6)	182
2025 Q1	11,496 (100.0)	4,570 (39.8)	407 (3.5)	5,331 (46.4)	1,005 (8.7)	183
2025 Q2	11,542 (100.0)	4,486 (38.9)	372 (3.2)	5,456 (47.3)	1,049 (9.1)	180
2022 01	3,641 (100.0)	1,538 (42.2)	179 (4.9)	1,574 (43.2)	295 (8.1)	55
2022 02	3,701 (100.0)	1,475 (39.8)	180 (4.9)	1,684 (45.5)	306 (8.3)	56
2022 03	3,695 (100.0)	1,441 (39.0)	184 (5.0)	1,692 (45.8)	322 (8.7)	57
2022 04	3,746 (100.0)	1,474 (39.4)	212 (5.6)	1,685 (45.0)	319 (8.5)	57
2022 05	3,836 (100.0)	1,546 (40.3)	238 (6.2)	1,690 (44.1)	302 (7.9)	61
2022 06	3,963 (100.0)	1,582 (39.9)	245 (6.2)	1,754 (44.3)	318 (8.0)	64
2022 07	4,003 (100.0)	1,564 (39.1)	263 (6.6)	1,770 (44.2)	340 (8.5)	67
2022 08	4,126 (100.0)	1,592 (38.6)	270 (6.5)	1,822 (44.2)	372 (9.0)	70
2022 09	4,176 (100.0)	1,496 (35.8)	266 (6.4)	1,940 (46.5)	407 (9.8)	68
2022 10	4,212 (100.0)	1,505 (35.7)	232 (5.5)	1,975 (46.9)	426 (10.1)	74
2022 11	4,211 (100.0)	1,481 (35.2)	230 (5.5)	1,998 (47.4)	427 (10.1)	75
2022 12	4,313 (100.0)	1,474 (34.2)	217 (5.0)	2,114 (49.0)	432 (10.0)	76
2023 01	4,324 (100.0)	1,466 (33.9)	210 (4.9)	2,148 (49.7)	427 (9.9)	73
2023 02	4,009 (100.0)	1,437 (35.9)	208 (5.2)	1,910 (47.6)	382 (9.5)	71
2023 03	3,889 (100.0)	1,452 (37.3)	209 (5.4)	1,810 (46.6)	348 (8.9)	70
2023 04	3,926 (100.0)	1,449 (36.9)	203 (5.2)	1,884 (48.0)	319 (8.1)	69
2023 05	3,716 (100.0)	1,427 (38.4)	194 (5.2)	1,701 (45.8)	328 (8.8)	66
2023 06	3,669 (100.0)	1,434 (39.1)	189 (5.1)	1,668 (45.5)	312 (8.5)	65
2023 07	3,598 (100.0)	1,445 (40.2)	171 (4.8)	1,621 (45.0)	300 (8.3)	61
2023 08	3,601 (100.0)	1,495 (41.5)	160 (4.4)	1,603 (44.5)	284 (7.9)	59
2023 09	3,603 (100.0)	1,495 (41.5)	163 (4.5)	1,619 (45.0)	265 (7.4)	60
2023 10	3,551 (100.0)	1,435 (40.4)	173 (4.9)	1,578 (44.4)	305 (8.6)	59
2023 11	3,565 (100.0)	1,474 (41.3)	169 (4.7)	1,565 (43.9)	298 (8.4)	59
2023 12	3,559 (100.0)	1,520 (42.7)	165 (4.6)	1,504 (42.3)	309 (8.7)	60
2024 01	3,497 (100.0)	1,465 (41.9)	175 (5.0)	1,506 (43.1)	292 (8.3)	58
2024 02	3,621 (100.0)	1,491 (41.2)	176 (4.9)	1,574 (43.5)	319 (8.8)	60
2024 03	3,702 (100.0)	1,507 (40.7)	169 (4.6)	1,671 (45.1)	295 (8.0)	61
2024 04	3,639 (100.0)	1,538 (42.3)	169 (4.7)	1,558 (42.8)	311 (8.5)	62
2024 05	3,741 (100.0)	1,534 (41.0)	167 (4.5)	1,665 (44.5)	313 (8.4)	63
2024 06	3,783 (100.0)	1,523 (40.3)	167 (4.4)	1,702 (45.0)	328 (8.7)	62
2024 07	3,885 (100.0)	1,498 (38.6)	165 (4.2)	1,810 (46.6)	348 (9.0)	65
2024 08	3,863 (100.0)	1,447 (37.5)	162 (4.2)	1,860 (48.2)	330 (8.5)	64
2024 09	3,779 (100.0)	1,449 (38.3)	156 (4.1)	1,807 (47.8)	306 (8.1)	61
2024 10	3,721 (100.0)	1,463 (39.3)	148 (4.0)	1,739 (46.7)	311 (8.4)	60
2024 11	3,758 (100.0)	1,497 (39.8)	149 (4.0)	1,723 (45.8)	328 (8.7)	61
2024 12	3,846 (100.0)	1,526 (39.7)	148 (3.9)	1,778 (46.2)	333 (8.7)	61
2025 01	3,860 (100.0)	1,541 (39.9)	137 (3.6)	1,778 (46.1)	343 (8.9)	62
2025 02	3,823 (100.0)	1,517 (39.7)	136 (3.6)	1,784 (46.7)	325 (8.5)	61
2025 03	3,813 (100.0)	1,513 (39.7)	133 (3.5)	1,769 (46.4)	337 (8.8)	61
2025 04	3,891 (100.0)	1,578 (40.5)	125 (3.2)	1,790 (46.0)	339 (8.7)	60
2025 05	3,796 (100.0)	1,456 (38.4)	124 (3.3)	1,803 (47.5)	353 (9.3)	61
2025 06	3,854 (100.0)	1,452 (37.7)	122 (3.2)	1,863 (48.3)	358 (9.3)	59
2025 07	3,815 (100.0)	1,431 (37.5)	124 (3.2)	1,875 (49.1)	327 (8.6)	58
2025 08	3,709 (100.0)	1,438 (38.8)	121 (3.3)	1,769 (47.7)	324 (8.7)	57
2025 09	3,807 (100.0)	1,475 (38.7)	120 (3.1)	1,830 (48.1)	324 (8.5)	59
2025 10	3,795 (100.0)	1,505 (39.7)	119 (3.1)	1,778 (46.9)	333 (8.8)	59
2025 11	3,750 (100.0)	1,455 (38.8)	114 (3.0)	1,790 (47.7)	333 (8.9)	58

単位：10億円。注：括弧内は最終エネルギー消費額に占めるコストシェア。エネルギーに対する補助金による抑制後のコスト（脚注2）。

13.2 最終エネルギー消費量

	a. 最終エネルギー消費量										
	b. 石油製品		c. 石炭製品		c. 電力 (自家発電を含む)		d. ガス	e. その他の エネルギー			
2015	13,231	(100.0)	6,609	(49.9)	1,694	(12.8)	3,440	(26.0)	1,199	(9.1)	289
2016	13,032	(100.0)	6,467	(49.6)	1,660	(12.7)	3,421	(26.3)	1,190	(9.1)	293
2017	13,063	(100.0)	6,420	(49.1)	1,656	(12.7)	3,460	(26.5)	1,225	(9.4)	302
2018	12,883	(100.0)	6,294	(48.9)	1,636	(12.7)	3,421	(26.6)	1,223	(9.5)	309
2019	12,627	(100.0)	6,144	(48.7)	1,600	(12.7)	3,354	(26.6)	1,222	(9.7)	306
2020	11,935	(100.0)	5,768	(48.3)	1,421	(11.9)	3,301	(27.7)	1,152	(9.7)	292
2021	11,869	(100.0)	5,622	(47.4)	1,461	(12.3)	3,316	(27.9)	1,168	(9.8)	302
2022	11,625	(100.0)	5,499	(47.3)	1,405	(12.1)	3,267	(28.1)	1,146	(9.9)	308
2023	11,259	(100.0)	5,349	(47.5)	1,317	(11.7)	3,186	(28.3)	1,101	(9.8)	307
2024	11,090	(100.0)	5,201	(46.9)	1,248	(11.3)	3,218	(29.0)	1,115	(10.1)	308
2022 Q1	2,953	(100.0)	1,391	(47.1)	354	(12.0)	840	(28.4)	291	(9.8)	77
Q2	2,890	(100.0)	1,359	(47.0)	357	(12.4)	823	(28.5)	274	(9.5)	77
Q3	2,908	(100.0)	1,384	(47.6)	352	(12.1)	804	(27.6)	291	(10.0)	76
Q4	2,874	(100.0)	1,365	(47.5)	341	(11.9)	800	(27.8)	290	(10.1)	78
2023 Q1	2,842	(100.0)	1,365	(48.0)	337	(11.9)	786	(27.6)	277	(9.8)	78
Q2	2,815	(100.0)	1,337	(47.5)	335	(11.9)	793	(28.2)	272	(9.7)	78
Q3	2,816	(100.0)	1,324	(47.0)	330	(11.7)	818	(29.0)	269	(9.5)	76
Q4	2,785	(100.0)	1,324	(47.5)	315	(11.3)	789	(28.3)	283	(10.2)	75
2024 Q1	2,779	(100.0)	1,316	(47.4)	311	(11.2)	799	(28.8)	277	(10.0)	75
Q2	2,793	(100.0)	1,328	(47.5)	314	(11.3)	795	(28.5)	278	(10.0)	78
Q3	2,752	(100.0)	1,261	(45.8)	310	(11.3)	825	(30.0)	277	(10.1)	78
Q4	2,767	(100.0)	1,296	(46.8)	312	(11.3)	799	(28.9)	283	(10.2)	77
2025 Q1	2,765	(100.0)	1,286	(46.5)	300	(10.8)	810	(29.3)	292	(10.6)	77
Q2	2,799	(100.0)	1,322	(47.2)	296	(10.6)	807	(28.8)	297	(10.6)	77
2022 01	1,012	(100.0)	490	(48.5)	118	(11.7)	280	(27.7)	98	(9.6)	26
02	983	(100.0)	460	(46.8)	118	(12.0)	284	(28.9)	95	(9.7)	26
03	958	(100.0)	440	(46.0)	118	(12.3)	276	(28.8)	98	(10.2)	26
04	949	(100.0)	439	(46.2)	118	(12.4)	274	(28.8)	94	(9.9)	25
05	972	(100.0)	464	(47.7)	121	(12.5)	272	(28.0)	89	(9.2)	26
06	969	(100.0)	457	(47.2)	118	(12.2)	278	(28.7)	90	(9.3)	26
07	965	(100.0)	461	(47.8)	116	(12.0)	269	(27.9)	93	(9.7)	25
08	981	(100.0)	474	(48.3)	119	(12.1)	265	(27.0)	97	(9.9)	26
09	962	(100.0)	449	(46.7)	118	(12.2)	270	(28.1)	101	(10.5)	25
10	968	(100.0)	462	(47.7)	115	(11.9)	266	(27.4)	100	(10.3)	26
11	956	(100.0)	455	(47.6)	116	(12.1)	263	(27.5)	96	(10.0)	26
12	950	(100.0)	448	(47.2)	111	(11.7)	270	(28.5)	94	(9.9)	26
2023 01	956	(100.0)	457	(47.8)	112	(11.7)	266	(27.9)	95	(10.0)	26
02	948	(100.0)	452	(47.7)	113	(11.9)	263	(27.8)	94	(9.9)	26
03	938	(100.0)	456	(48.6)	112	(11.9)	256	(27.3)	88	(9.4)	26
04	940	(100.0)	451	(47.9)	112	(11.9)	263	(28.0)	87	(9.3)	26
05	937	(100.0)	442	(47.2)	111	(11.9)	265	(28.3)	92	(9.8)	26
06	939	(100.0)	444	(47.3)	112	(11.9)	264	(28.1)	93	(9.9)	26
07	940	(100.0)	442	(47.0)	113	(12.0)	267	(28.4)	93	(9.9)	25
08	933	(100.0)	437	(46.8)	109	(11.7)	271	(29.1)	91	(9.7)	25
09	943	(100.0)	445	(47.2)	108	(11.5)	279	(29.6)	85	(9.0)	26
10	928	(100.0)	440	(47.5)	108	(11.6)	261	(28.2)	94	(10.1)	25
11	930	(100.0)	441	(47.4)	104	(11.2)	267	(28.7)	93	(10.0)	25
12	928	(100.0)	443	(47.7)	102	(11.0)	261	(28.1)	97	(10.4)	25
2024 01	909	(100.0)	429	(47.3)	104	(11.5)	259	(28.5)	92	(10.1)	25
02	932	(100.0)	441	(47.3)	105	(11.3)	264	(28.4)	96	(10.3)	25
03	938	(100.0)	446	(47.5)	102	(10.9)	276	(29.5)	89	(9.4)	25
04	937	(100.0)	450	(48.0)	106	(11.3)	264	(28.1)	92	(9.8)	26
05	931	(100.0)	441	(47.4)	104	(11.1)	267	(28.7)	93	(9.9)	26
06	925	(100.0)	437	(47.2)	104	(11.3)	264	(28.5)	94	(10.2)	26
07	930	(100.0)	428	(46.0)	105	(11.3)	273	(29.4)	97	(10.4)	26
08	907	(100.0)	416	(45.8)	104	(11.4)	272	(29.9)	90	(10.0)	26
09	914	(100.0)	417	(45.6)	102	(11.1)	280	(30.7)	90	(9.8)	26
10	913	(100.0)	423	(46.4)	103	(11.3)	268	(29.4)	92	(10.1)	26
11	922	(100.0)	432	(46.9)	104	(11.3)	264	(28.6)	96	(10.4)	26
12	931	(100.0)	440	(47.3)	104	(11.2)	266	(28.6)	95	(10.2)	26
2025 01	926	(100.0)	435	(47.0)	100	(10.8)	266	(28.8)	98	(10.6)	26
02	919	(100.0)	424	(46.2)	99	(10.8)	274	(29.8)	96	(10.4)	26
03	920	(100.0)	426	(46.3)	101	(10.9)	270	(29.3)	98	(10.7)	26
04	937	(100.0)	448	(47.7)	99	(10.6)	268	(28.6)	97	(10.3)	26
05	915	(100.0)	426	(46.6)	99	(10.8)	264	(28.9)	99	(10.8)	26
06	947	(100.0)	449	(47.4)	98	(10.3)	275	(29.0)	101	(10.7)	25
07	930	(100.0)	433	(46.6)	100	(10.7)	277	(29.8)	94	(10.1)	26
08	921	(100.0)	434	(47.1)	98	(10.7)	269	(29.2)	94	(10.2)	25
09	937	(100.0)	442	(47.1)	97	(10.4)	277	(29.5)	96	(10.2)	25
10	940	(100.0)	448	(47.7)	97	(10.3)	270	(28.7)	99	(10.5)	26
11	931	(100.0)	444	(47.7)	96	(10.3)	268	(28.8)	98	(10.5)	25

単位：PJ。注：括弧内の計数は最終エネルギー消費量に占めるシェア。

13.3 最終エネルギー消費平均単価

	a. 最終エネルギー消費平均単価										
	b. 石油製品		c. 石炭製品		e. 電力 (自家発電を含む)	d. ガス	e. その他の エネルギー				
2015	2.90	(55.1)	2.31	(43.9)	0.68	(13.0)	5.26	(100.0)	2.73	(51.86)	1.87
2016	2.50	(53.8)	1.95	(42.0)	0.58	(12.5)	4.64	(100.0)	2.18	(46.96)	1.85
2017	2.78	(57.5)	2.30	(47.5)	0.85	(17.6)	4.83	(100.0)	2.32	(48.07)	1.89
2018	3.06	(59.7)	2.65	(51.6)	0.92	(18.0)	5.13	(100.0)	2.56	(50.01)	1.91
2019	3.01	(57.6)	2.48	(47.4)	0.86	(16.3)	5.24	(100.0)	2.68	(51.16)	1.93
2020	2.71	(55.2)	2.04	(41.6)	0.68	(13.9)	4.91	(100.0)	2.48	(50.49)	1.84
2021	3.05	(61.7)	2.66	(53.8)	0.95	(19.2)	4.95	(100.0)	2.48	(50.13)	1.88
2022	4.10	(61.7)	3.30	(49.7)	1.93	(29.1)	6.64	(100.0)	3.72	(56.06)	2.52
2023	4.00	(61.8)	3.28	(50.7)	1.68	(26.0)	6.47	(100.0)	3.52	(54.44)	2.52
2024	4.04	(63.8)	3.45	(54.4)	1.56	(24.7)	6.34	(100.0)	3.42	(53.99)	2.40
2022 Q1	3.74	(63.4)	3.20	(54.3)	1.54	(26.0)	5.90	(100.0)	3.17	(53.8)	2.16
Q2	4.00	(64.1)	3.39	(54.4)	1.94	(31.2)	6.23	(100.0)	3.43	(55.1)	2.37
Q3	4.23	(61.5)	3.36	(48.8)	2.27	(32.9)	6.88	(100.0)	3.84	(55.9)	2.68
Q4	4.43	(58.2)	3.27	(42.9)	1.99	(26.1)	7.61	(100.0)	4.43	(58.2)	2.88
2023 Q1	4.30	(57.6)	3.19	(42.7)	1.86	(24.9)	7.47	(100.0)	4.17	(55.9)	2.75
Q2	4.02	(60.6)	3.22	(48.7)	1.75	(26.4)	6.63	(100.0)	3.53	(53.2)	2.56
Q3	3.84	(64.8)	3.35	(56.6)	1.50	(25.3)	5.92	(100.0)	3.16	(53.4)	2.38
Q4	3.83	(65.1)	3.35	(56.8)	1.61	(27.4)	5.89	(100.0)	3.22	(54.8)	2.37
2024 Q1	3.89	(65.5)	3.39	(57.0)	1.67	(28.1)	5.94	(100.0)	3.27	(55.1)	2.39
Q2	4.00	(64.5)	3.46	(55.8)	1.60	(25.8)	6.20	(100.0)	3.42	(55.2)	2.41
Q3	4.19	(63.1)	3.48	(52.5)	1.56	(23.5)	6.64	(100.0)	3.55	(53.5)	2.43
Q4	4.09	(62.4)	3.46	(52.8)	1.43	(21.8)	6.56	(100.0)	3.44	(52.5)	2.35
2025 Q1	4.16	(63.2)	3.55	(54.0)	1.36	(20.6)	6.58	(100.0)	3.44	(52.3)	2.37
Q2	4.12	(61.0)	3.39	(50.2)	1.25	(18.6)	6.76	(100.0)	3.54	(52.3)	2.33
2022 01	3.60	(64.0)	3.14	(55.8)	1.51	(26.9)	5.62	(100.0)	3.02	(53.8)	2.14
02	3.76	(63.5)	3.20	(54.0)	1.53	(25.8)	5.93	(100.0)	3.20	(54.0)	2.17
03	3.86	(62.9)	3.27	(53.4)	1.56	(25.4)	6.13	(100.0)	3.29	(53.7)	2.18
04	3.95	(64.1)	3.36	(54.6)	1.80	(29.2)	6.16	(100.0)	3.39	(55.0)	2.25
05	3.95	(63.5)	3.34	(53.7)	1.96	(31.6)	6.21	(100.0)	3.38	(54.4)	2.35
06	4.09	(64.8)	3.46	(54.8)	2.08	(32.9)	6.31	(100.0)	3.53	(55.9)	2.52
07	4.15	(63.0)	3.39	(51.5)	2.26	(34.3)	6.59	(100.0)	3.65	(55.4)	2.63
08	4.21	(61.2)	3.36	(48.9)	2.28	(33.1)	6.87	(100.0)	3.83	(55.7)	2.69
09	4.34	(60.4)	3.33	(46.4)	2.26	(31.5)	7.18	(100.0)	4.04	(56.2)	2.73
10	4.35	(58.5)	3.26	(43.9)	2.02	(27.2)	7.43	(100.0)	4.26	(57.3)	2.84
11	4.40	(58.1)	3.26	(42.9)	1.98	(26.2)	7.59	(100.0)	4.45	(58.7)	2.90
12	4.54	(58.1)	3.29	(42.1)	1.96	(25.1)	7.81	(100.0)	4.59	(58.7)	2.90
2023 01	4.52	(56.1)	3.21	(39.8)	1.88	(23.3)	8.07	(100.0)	4.49	(55.6)	2.83
02	4.23	(58.3)	3.18	(43.9)	1.85	(25.5)	7.25	(100.0)	4.07	(56.2)	2.73
03	4.15	(58.6)	3.18	(45.0)	1.86	(26.4)	7.08	(100.0)	3.94	(55.7)	2.70
04	4.18	(58.4)	3.22	(45.0)	1.81	(25.3)	7.16	(100.0)	3.65	(51.0)	2.64
05	3.97	(61.9)	3.23	(50.3)	1.75	(27.3)	6.41	(100.0)	3.56	(55.6)	2.57
06	3.91	(61.9)	3.23	(51.2)	1.69	(26.7)	6.31	(100.0)	3.37	(53.4)	2.48
07	3.83	(63.1)	3.27	(53.9)	1.51	(25.0)	6.06	(100.0)	3.23	(53.3)	2.42
08	3.86	(65.3)	3.42	(57.9)	1.46	(24.8)	5.91	(100.0)	3.13	(52.9)	2.37
09	3.82	(65.9)	3.36	(58.0)	1.51	(26.0)	5.80	(100.0)	3.12	(53.8)	2.35
10	3.83	(63.4)	3.26	(54.0)	1.61	(26.6)	6.04	(100.0)	3.26	(54.0)	2.38
11	3.83	(65.4)	3.34	(57.0)	1.62	(27.6)	5.86	(100.0)	3.22	(54.9)	2.37
12	3.84	(66.5)	3.43	(59.6)	1.62	(28.0)	5.76	(100.0)	3.20	(55.4)	2.37
2024 01	3.85	(66.1)	3.41	(58.6)	1.68	(28.9)	5.82	(100.0)	3.18	(54.6)	2.38
02	3.89	(65.2)	3.38	(56.8)	1.67	(28.1)	5.96	(100.0)	3.31	(55.6)	2.41
03	3.94	(65.3)	3.38	(55.9)	1.66	(27.4)	6.04	(100.0)	3.33	(55.1)	2.39
04	3.88	(65.7)	3.42	(57.9)	1.59	(27.0)	5.91	(100.0)	3.40	(57.5)	2.39
05	4.02	(64.5)	3.47	(55.7)	1.61	(25.8)	6.24	(100.0)	3.38	(54.3)	2.41
06	4.09	(63.4)	3.49	(54.1)	1.61	(24.9)	6.45	(100.0)	3.48	(54.0)	2.43
07	4.18	(63.1)	3.50	(52.8)	1.57	(23.7)	6.62	(100.0)	3.59	(54.2)	2.44
08	4.26	(62.2)	3.48	(50.8)	1.57	(22.9)	6.85	(100.0)	3.65	(53.3)	2.46
09	4.13	(64.1)	3.47	(53.9)	1.54	(23.8)	6.45	(100.0)	3.41	(52.8)	2.39
10	4.08	(62.9)	3.46	(53.3)	1.43	(22.1)	6.48	(100.0)	3.38	(52.2)	2.35
11	4.08	(62.5)	3.47	(53.1)	1.43	(21.9)	6.52	(100.0)	3.43	(52.6)	2.34
12	4.13	(61.9)	3.47	(52.0)	1.43	(21.4)	6.67	(100.0)	3.50	(52.5)	2.37
2025 01	4.17	(62.4)	3.54	(53.0)	1.37	(20.6)	6.68	(100.0)	3.49	(52.2)	2.36
02	4.16	(64.0)	3.57	(55.0)	1.38	(21.2)	6.50	(100.0)	3.40	(52.2)	2.37
03	4.14	(63.2)	3.55	(54.2)	1.32	(20.2)	6.55	(100.0)	3.43	(52.4)	2.37
04	4.15	(62.2)	3.52	(52.8)	1.26	(18.9)	6.68	(100.0)	3.50	(52.4)	2.33
05	4.15	(60.8)	3.42	(50.0)	1.25	(18.4)	6.82	(100.0)	3.56	(52.2)	2.32
06	4.07	(60.0)	3.24	(47.7)	1.25	(18.4)	6.78	(100.0)	3.54	(52.2)	2.35
07	4.10	(60.6)	3.30	(48.8)	1.24	(18.4)	6.77	(100.0)	3.47	(51.3)	2.28
08	4.03	(61.3)	3.32	(50.5)	1.23	(18.7)	6.57	(100.0)	3.44	(52.3)	2.27
09	4.06	(61.4)	3.34	(50.5)	1.23	(18.5)	6.62	(100.0)	3.38	(51.1)	2.32
10	4.04	(61.3)	3.36	(51.0)	1.23	(18.6)	6.59	(100.0)	3.36	(51.0)	2.30
11	4.03	(60.3)	3.28	(49.1)	1.19	(17.8)	6.67	(100.0)	3.39	(50.8)	2.30

単位：円/MJ。注：括弧内の計数は電力との相対価格（電力平均単価=100）。エネルギーに対する補助金による抑制後の価格（脚注2）。

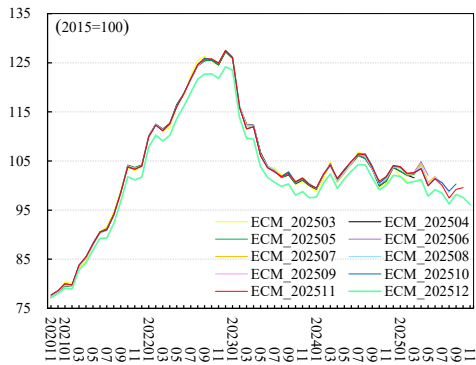
13.4 RUEC 関連指標

	a. RUEC (実質単位エネルギーコスト)							d. 名目 GDP	e. エネルギーコスト
	b. 実質エネルギー価格			c. エネルギー生産性					
	b1. 名目エネルギー価格	b2. GDPデフレーター		c1. 実質 GDP	c2. エネルギー消費量				
2015	100.0	(.070)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2016	83.7	(.059)	85.2	85.6	100.6	101.7	100.7	99.0	101.2
2017	91.9	(.064)	94.5	95.1	100.6	102.9	102.3	99.4	102.9
2018	99.1	(.069)	104.6	105.2	100.5	105.6	103.2	97.7	103.7
2019	95.3	(.067)	102.4	103.7	101.3	107.4	102.9	95.7	104.2
2020	83.3	(.058)	89.3	91.6	102.5	107.2	98.4	91.8	100.9
2021	90.3	(.063)	100.9	103.3	102.5	111.7	102.0	91.3	104.5
2022	116.6	(.081)	133.3	137.5	103.1	114.3	103.3	90.4	106.6
2023	105.0	(.073)	124.6	134.4	107.8	118.6	104.1	87.7	112.2
2024	100.9	(.071)	120.5	134.1	111.3	119.4	103.8	87.0	115.5
2022 Q1	109.0	(.076)	121.1	124.7	103.0	111.0	102.6	92.4	105.7
Q2	113.3	(.079)	130.9	134.3	102.6	115.4	103.7	89.8	106.3
Q3	121.1	(.085)	139.1	142.9	102.7	114.8	103.3	90.0	106.1
Q4	122.9	(.086)	143.1	149.3	104.3	116.3	103.7	89.1	108.2
2023 Q1	115.6	(.081)	137.2	144.9	105.6	118.6	104.4	88.1	110.3
Q2	105.0	(.073)	125.6	134.9	107.4	119.5	104.7	87.6	112.5
Q3	100.3	(.070)	117.2	127.7	108.9	116.9	103.3	88.4	112.5
Q4	98.1	(.068)	116.7	127.7	109.5	118.9	103.8	87.3	113.6
2024 Q1	100.2	(.070)	118.5	129.5	109.3	118.2	103.2	87.3	112.8
Q2	101.2	(.071)	119.6	133.1	111.3	118.1	103.4	87.6	115.1
Q3	103.4	(.072)	122.8	137.3	111.8	118.7	104.1	87.7	116.4
Q4	100.4	(.070)	120.3	135.6	112.7	119.7	104.5	87.3	117.8
2025 Q1	101.1	(.071)	121.1	137.1	113.2	119.7	104.9	87.6	118.8
Q2	99.4	(.069)	118.8	136.5	115.0	119.4	105.4	88.3	121.2
2022 01	107.8	(.075)	117.5	120.7	102.7	108.9	103.0	94.5	105.8
02	110.2	(.077)	121.7	125.4	103.0	110.3	102.1	92.5	105.1
03	109.1	(.076)	124.4	128.3	103.2	113.9	102.9	90.3	106.1
04	110.2	(.077)	128.8	132.0	102.5	116.7	103.8	88.9	106.4
05	113.6	(.079)	130.1	133.4	102.5	114.4	103.1	90.1	105.7
06	116.1	(.081)	133.7	137.4	102.7	115.1	104.0	90.4	106.9
07	118.9	(.083)	136.2	139.5	102.4	114.5	103.0	89.9	105.4
08	121.7	(.085)	139.2	143.1	102.8	114.3	103.3	90.3	106.2
09	122.7	(.086)	141.8	146.1	103.0	115.6	103.6	89.6	106.6
10	122.7	(.086)	141.7	147.0	103.7	115.4	103.6	89.8	107.5
11	121.8	(.085)	142.7	149.0	104.5	117.0	103.6	88.5	108.3
12	124.2	(.087)	144.9	151.8	104.7	116.6	103.9	89.1	108.8
2023 01	123.5	(.086)	143.7	151.9	105.7	116.3	103.8	89.2	109.7
02	113.8	(.079)	134.9	142.1	105.4	118.4	104.7	88.4	110.3
03	109.7	(.077)	132.8	140.7	105.9	121.0	104.9	86.7	111.1
04	109.5	(.076)	130.8	140.6	107.5	119.4	104.5	87.5	112.3
05	103.8	(.072)	124.1	132.9	107.1	119.4	104.7	87.6	112.1
06	101.6	(.071)	121.8	131.2	107.7	119.7	105.0	87.6	113.0
07	100.6	(.070)	117.9	128.2	108.7	117.1	103.0	87.9	112.0
08	99.8	(.070)	117.9	128.5	109.0	118.0	103.6	87.8	113.0
09	100.3	(.070)	115.9	126.3	108.9	115.5	103.3	89.4	112.5
10	98.1	(.068)	116.9	127.9	109.4	119.1	103.7	87.0	113.4
11	98.8	(.069)	116.7	127.6	109.3	118.1	103.4	87.5	113.0
12	97.5	(.068)	116.5	127.7	109.6	119.4	104.2	87.3	114.3
2024 01	97.6	(.068)	118.1	128.6	108.9	120.8	102.9	85.2	112.1
02	100.4	(.070)	118.7	129.7	109.3	118.1	103.3	87.5	112.9
03	102.3	(.071)	118.6	130.1	109.6	115.8	103.3	89.2	113.3
04	99.4	(.069)	116.7	129.4	110.9	117.2	103.3	88.1	114.6
05	101.3	(.071)	120.3	134.0	111.4	118.7	103.9	87.5	115.6
06	102.9	(.072)	121.8	135.9	111.6	118.2	103.2	87.2	115.1
07	104.3	(.073)	123.6	137.8	111.5	118.5	104.7	88.4	116.7
08	104.2	(.073)	124.6	139.3	111.8	119.4	103.8	86.9	116.1
09	101.6	(.071)	120.1	134.7	112.1	118.2	103.9	87.9	116.5
10	99.1	(.069)	119.4	134.2	112.3	120.4	104.7	86.9	117.6
11	100.0	(.070)	120.0	135.2	112.7	119.8	104.4	87.1	117.7
12	102.1	(.071)	121.4	137.3	113.1	118.8	104.4	87.8	118.0
2025 01	101.9	(.071)	122.0	137.9	113.0	119.7	105.0	87.7	118.7
02	100.5	(.070)	120.4	136.4	113.3	119.7	105.1	87.8	119.1
03	100.8	(.070)	120.9	137.1	113.4	119.8	104.5	87.2	118.5
04	101.2	(.071)	120.3	137.7	114.5	118.8	105.2	88.5	120.4
05	97.8	(.068)	119.9	137.9	115.0	122.5	105.7	86.3	121.5
06	99.2	(.069)	116.2	134.1	115.4	117.0	105.4	90.1	121.7
07	98.4	(.069)	115.8	134.1	115.8	117.5	104.8	89.2	121.4
08	96.3	(.067)	115.1	132.8	115.4	119.5	104.6	87.5	120.7
09	98.2	(.069)	115.3	133.3	115.6	117.4	105.0	89.5	121.4
10	97.6	(.068)	114.8	133.0	115.9	117.5	105.1	89.4	121.8
11	96.1	(.067)	114.2	132.6	116.1	118.7	105.2	88.6	122.1

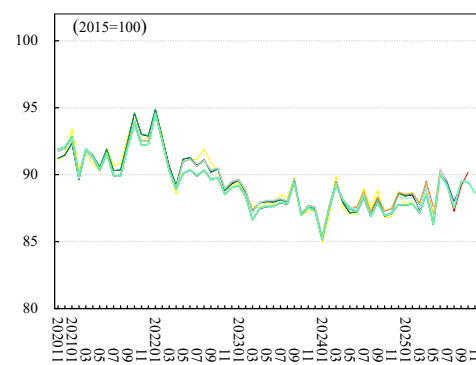
単位：2015 暦年平均=100。注：括弧内の計数は名目 GDP 比。注：エネルギーに対する補助金による抑制後の価格・コスト（脚注 2）。

14 過去の公表値からの改訂状況

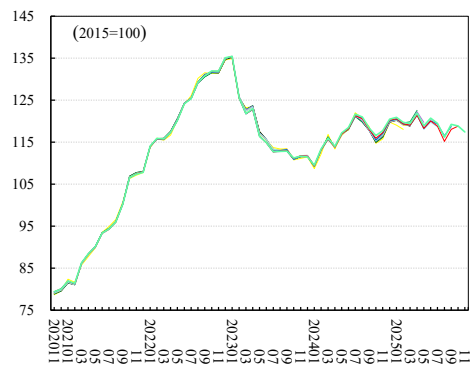
14.1 RUEC



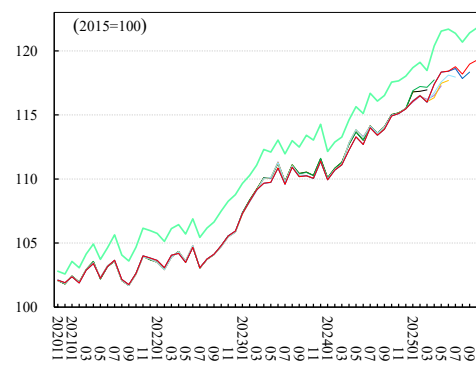
14.5 エネルギー消費量



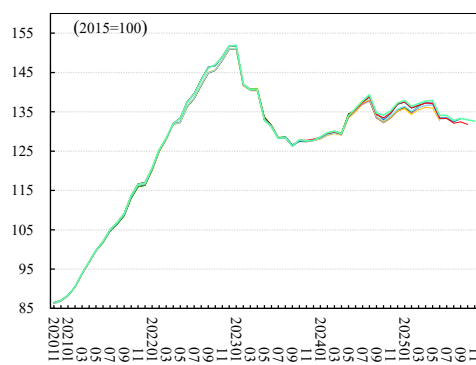
14.2 エネルギーコスト



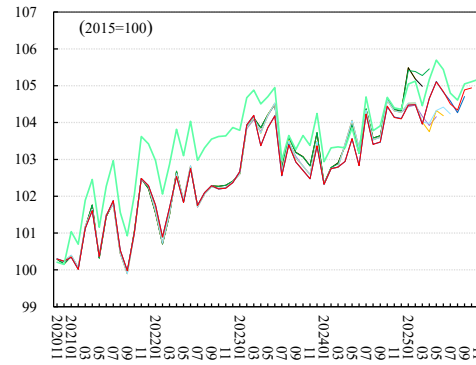
14.6 名目 GDP



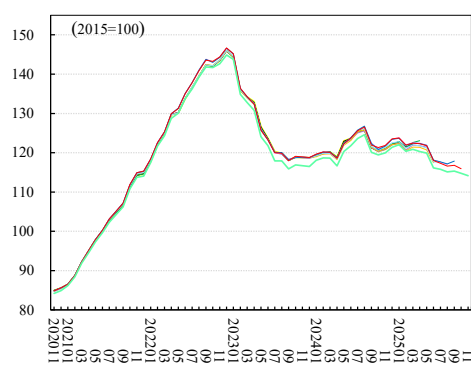
14.3 名目エネルギー価格



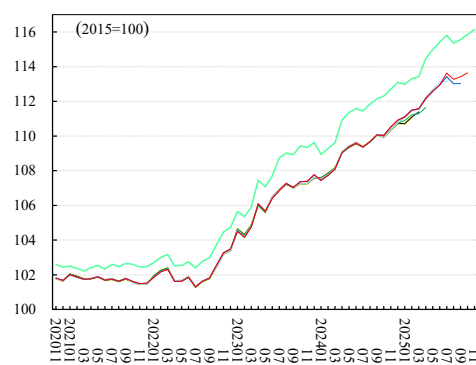
14.7 実質 GDP



14.4 実質エネルギー価格



14.8 GDPデフレーター



## 15 おもな改訂内容

ECM-JPN	公表日	指標	変数	改訂内容の概要
202203	2022/4/12			2022年1月16日に構築を開始したECMの初回推計値を <b>HP公開</b> 。
202204	2022/4/30	X	P,Q	年次JSNA産業別国内総生産との整合性保持。基礎データ改訂。
		E	P,Q	エネ種分類において <b>自家発電</b> の分離。2015年月次エネコスト改訂。基礎データ改訂。
202205	2022/5/31			レポートのRUEC関連指標の数表に四半期推計値を追加。
202208a	2022/9/27	E	P	2015年 <b>エネ種別単価</b> の改訂。事業用電力と自家発電の対象範囲の改訂。
		E	Q	<b>IEAエネバラの2020年エネ消費量との整合性保持</b> 。事業用電力と自家発電の対象範囲の改訂。
202209	2022/9/30			エネ種別の最終エネ消費額、消費量、単価の図を追加。HP大幅改訂。
202212	2022/12/28	E	P	2015年のエネ種別単価、エネ転換部門における消費率、家計と産業の消費配分の改訂。
		X	P,Q	2021年のJSNA-ANA四半期GDPの推移に合わせて遡及改訂。
202301	2023/1/31	X	P,Q	<b>産業分類</b> を32から <b>36へ細分化</b> 。産業別付加価値デフレーター推計法改訂（供給表の産業別生産物別生産額シェアを反映）。
202302	2023/2/28	E	P,Q	エネ種に再エネ追加。エネ転換におけるエネ消費量の詳細値の推計。 <b>グロス消費推計</b> 開始。
202307	2023/8/18			<b>補助金による抑制前</b> のエネコスト・エネ消費単価の公表を開始。
		E	P,Q	<b>月次予測値</b> の公表開始（ <i>EIA Short-term Energy Outlook</i> 利用）。
202309	2023/9/29	E	Q	月次予測値の推計法改訂（ <i>OECD Economic Outlook</i> 利用）。
202310	2023/10/31	E	Q	<b>IEAエネバラの2021年エネ消費量との整合性保持</b> 。
202312	2023/12/28	E	P	月次予測値の推計法改訂（エネ庁「石油製品価格調査」のガソリン、軽油、灯油価格利用）。
202402	2024/3/4	E	P,Q	<b>エネ最終消費主体</b> を2分類から <b>11分類へ細分化</b> 。国内総供給に加え <b>国内総需要からの推計法</b> を新規に加え両者から精度改善。電力の自家消費推計の改訂。
202403	2024/3/29	E	P	<b>JSNAコモの2022年エネ消費額との整合性保持</b> 。
		X	P,Q	<b>石油補助金仮定</b> を2023年5-9月は2023年平均の半分の補助率、10月以降はゼロを仮定。
202404	2024/5/4	E	P	2023年のJSNA-QE（2次速報）との整合性保持。
202405	2024/6/5	E	P	<b>容量拠出金</b> の電力価格へ上乗せを開始。2024年の再エネ賦課金の上昇分を反映。
202405a	2024/6/10	X	Q	容量拠出金・再エネ賦課金の電力価格への転嫁分を再検討し改訂。
202406	2024/6/29	E	P,Q	<b>日独EITE生産指数</b> を公開。ECM-JPNのHPの形式を大幅修正。
		E	P,Q	<b>補助金の復活・継続</b> により、電力・ガスは11月まで、石油は9月まで継続、10月以降は半減仮定。補助金の価格指数としての対応月を <b>電力使用月から検針月</b> に1か月後ろ倒し。
		X	Q	<b>米国EITE生産指数</b> を公開。
202406a	2024/7/1	X	Q	国土交通省「建設総合統計」の遡及改定によるJSNA2次速報(改定値)の公表（2024年7月1日）に伴って四半期GDPベンチマーク推計値を改訂。
202406b	2024/7/14	X	Q	EITE生産指数の月半ば更新を開始し（今回は5月まで更新）、加えて部門別EITE生産指数を公開。
202407	2024/8/3	X	Q	<b>中国EITE生産指数</b> を公開。
202407a	2024/8/15	X	Q	日独の <b>EITE輸入指数</b> と <b>EITE輸入生産比指数</b> を公開。
202408a	2024/9/13	E	Q	四半期RUEC指標の国際比較の日本語版の公表を開始。
202410	2024/11/5	E	P,Q	<b>IEAエネバラの2022年エネ消費量との整合性保持</b> （一部では2015年までの遡及改訂を反映。総合エネ統計における熱供給の遡及改訂未反映を調整）。米国 <b>BEA I-O Accounts Data</b> の2023年エネ消費額との整合性保持。なお、電力では新たにJSNAコモのエネ消費額との整合性保持。
202411	2024/12/8	E	P	韓国では2021-2022 <i>Updated input-output tables</i> の2021-22年エネ消費額、英国では <b>Input-output supply and use tables</b> の2022年エネ消費額との整合性を保持。また韓国では、主体別エネ種別消費単価のベンチマーク推計値を改訂。
202502	2025/3/4	E,X	P,Q	<b>多国ECMでのReal PLI指標再検討</b> によるエネ消費価格・消費量の大幅改訂と、それに伴うECM推計の1か月の早期化。また日本では、ECM推計値とJSNAコモの2023年エネ消費額、EITE指数とJSNA2023年生産・輸入指数との整合性保持。
202508	2025/9/6	E	P	ドイツでは <b>Input-Output-Rechnung (Input-Output-Accounting)</b> の2022年エネ消費額、フランスでは <b>Bilan Énergétique de la France (France's energy balance)</b> の2023年エネ消費額との整合性を保持。
202509	2025/10/15	E	P,Q	<b>IEAエネバラの2023年エネ消費量との整合性保持</b> 。韓国では2023 <i>Updated input-output tables</i> の2023年エネ消費額、米国では <b>BEA I-O Accounts Data</b> の2024年エネ消費額、イタリアでは <b>Il sistema di tavole input-output</b> の2021年エネ消費額との整合性保持。イタリアの推計値は大幅な見直しのため公表再開、インドの公表を新たに開始。他の国についても推計方法の見直しにより改訂。
202510	2025/11/1	E	P	英国 <b>Input-output supply and use tables</b> の2023年エネ消費額との整合性を保持。
202512	2026/1/10	X	P,Q	日本の四半期GDPでは、2020年基準JSNA-ANAの遡及改訂値を反映。

注：指標では生産をX、エネルギーをE（その他改訂を空欄）とする。変数では価格をP、数量をQ（その他を空欄）とする。